

八代・天草シーラインに関する勉強会

日 時：令和7年1月31日（金）

場 所：熊本県庁防災センター

307会議室

議 事 次 第

1 開会

2 議事

- 八代・天草・人吉球磨地域等の現況、道路の現状
- 地域課題の整理
- 意見交換

3 閉会

〔配付資料〕

- 設立趣意書【資料1】
- 規約・構成員【資料2】
- 説明資料【資料3】

やっしろ あまくさ
八代・天草シーラインに関する勉強会
設 立 趣 意 書

八代・天草シーラインは、令和３年６月に熊本県が策定した熊本県新広域道路交通計画において、必要な検討を進める構想路線に位置付けされている。

八代・天草地域は、南九州西回り自動車道や熊本天草幹線道路の高速ネットワークが整備されており、構想路線である「八代・天草シーライン」と併せた道路ネットワークが一体として機能することにより、当該地域と都市間の交流が広がり、地域産業や観光のポテンシャルが更に高まることが期待される。

更には、近年、激甚・頻発化している自然災害に対して、災害からの迅速な復旧と、早期の日常生活・経済活動の再開を見据え、被災後もすぐに機能する道路ネットワークが求められている。

このような情勢を踏まえ、国、熊本県及び関係自治体が連携して、八代・天草シーラインのあり方などについて検討を行うため、「八代・天草シーラインに関する勉強会」を設立するものである。

【資料２】

八代・天草シーラインに関する勉強会 規約

（名称）

第１条 本会は、「八代・天草シーラインに関する勉強会」（以下「勉強会」という。）と称する。

（目的）

第２条 八代・天草地域において、地域の現状や課題等を整理し、当該地域全体の幹線道路網のあり方を検討し、「八代・天草シーライン」の整備方針を議論することを目的とする。

（組織）

第３条 勉強会は、別紙に定める構成員をもって組織する。

（運営）

第４条 勉強会は、構成員が必要に応じて招集する。

- ２ 勉強会の運営、進行は事務局が行う。
- ３ 勉強会の事務局は、国土交通省 八代河川国道事務所 工務第二課、熊本県 交通政策課、八代市 企画政策課、上天草市 企画政策課に置く。
- ４ 事務局は、円滑な運営にあたりとともに、議事録を整理する。

（規約の改正）

第５条 本規約の改正は、勉強会の決議によらなければならない。

（雑則）

第６条 この規約に定めのない、勉強会の運営について、必要な事項は勉強会に諮って定める。

附則 この規約は令和６年３月２８日から施行する。

八代・天草シーラインに関する勉強会
構成員

所属		役職
国土交通省 八代河川国道事務所		副所長
熊本県 交通政策課		課長
熊本県 道路整備課		課長
八代市 総務企画部		部長
上天草市 企画政策部		部長
(事務局)	国土交通省 八代河川国道事務所 工務第二課 熊本県 企画振興部 交通政策課 八代市 総務企画部 企画政策課 上天草市 企画政策部 企画政策課	

八代・天草シーラインに関する勉強会

第2回 勉強会資料

令和7年1月31日(金)

目 次

1. 検討会の概要	 1
2. 地域の現況	 4
3. 道路の現状	15
4. 地域課題の整理	25
5. 今後の進め方(案)	37

1. 検討会の概要

●第1回勉強会で出された主な意見

第1回勉強会の主な意見	対応結果
・地域の現況は「八代、天草地域」のみで整理しているが、今後の課題整理では、「人吉・球磨地域」や「水俣・芦北地域」を含めて議論した方がよい。（八代市） ・「八代、天草地域」における観光の現況を入込客数で整理しているが、本地域のポテンシャルはもっと高いと思う。（熊本県） ・本勉強会で地域の現状や課題等を整理すると共に、地域の意見をしっかり聞きながら、当該地域全体の幹線道路網を含め八代・天草シーラインのあり方について、県・市と一体となって検討を進めていく。（八代河川国道事務所） ・八代・天草シーラインは令和3年に構想路線に位置付けられており、地域の期待も大きい。（上天草市）	・「人吉・球磨地域」「水俣・芦北地域」を含めて地域の現況、道路の現状を再整理した。 ・対象地域間の観光流動やクルーズ船のツアーバスの実態より、「天草地域」のポテンシャルを把握した。 ・地域の「人流」「物流」「企業誘致」「防災」「救急医療」の観点から統計データを踏まえた現状と地域課題を整理した。

(1) 今回の検討範囲

- ・対象地域に「人吉・球磨地域」と「水俣・芦北地域」を加え、地域の現況、道路の現状を更新するとともに、統計データを踏まえた地域課題を整理

前回（第1回勉強会）

- ・八代天草地域の現況、道路の現状



今回（第2回勉強会）

- ・地域の現況、道路の現状
（人吉・球磨地域等まで範囲を拡大し分析）
- ・地域課題の整理

1. 検討会の概要

(2) 沿線の広域ネットワーク計画



(1) 対象地域の見直し

- ・対象地域を「水俣・芦北地域」及び「人吉・球磨地域」まで広げ、対象地域を見直し
- ・対象地域の面積比は、熊本県全体の約5割

対象市町

■宇城地域

・宇土市・宇城市、美里町

■八代地域

・八代市・氷川町

■水俣・芦北地域

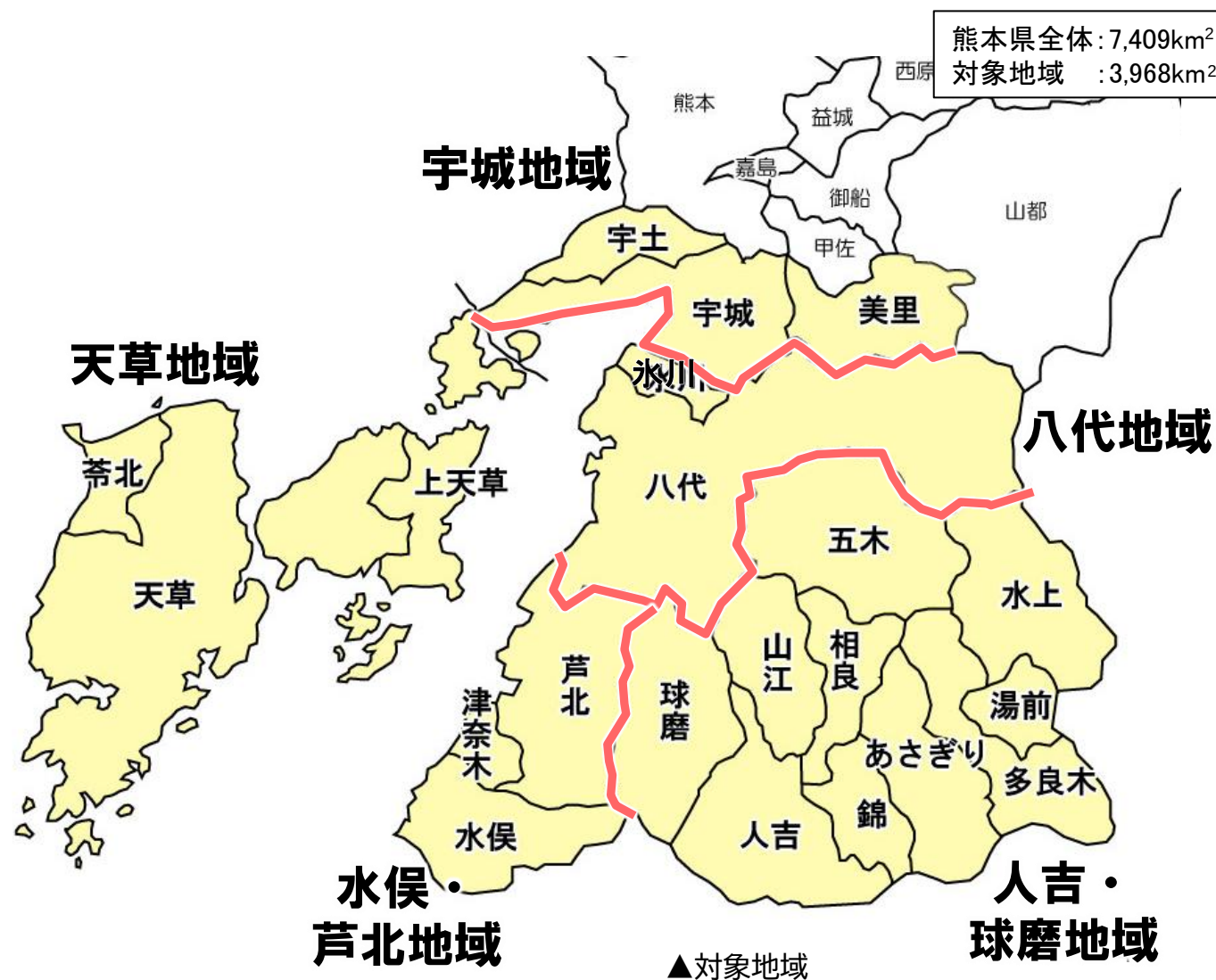
・水俣市・芦北町・津奈木町

■人吉・球磨地域

・人吉市・錦町・多良木町
・湯前町・水上村・相良村
・五木村・山江村
・球磨村・あさぎり町

■天草地域

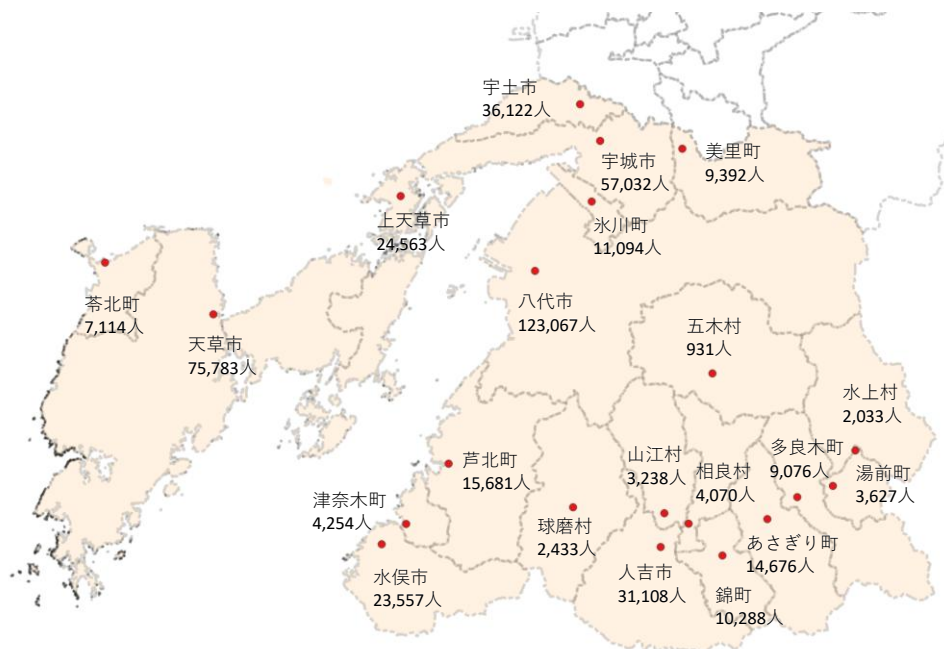
・天草市・上天草市
・苓北町



(2) 人口分布

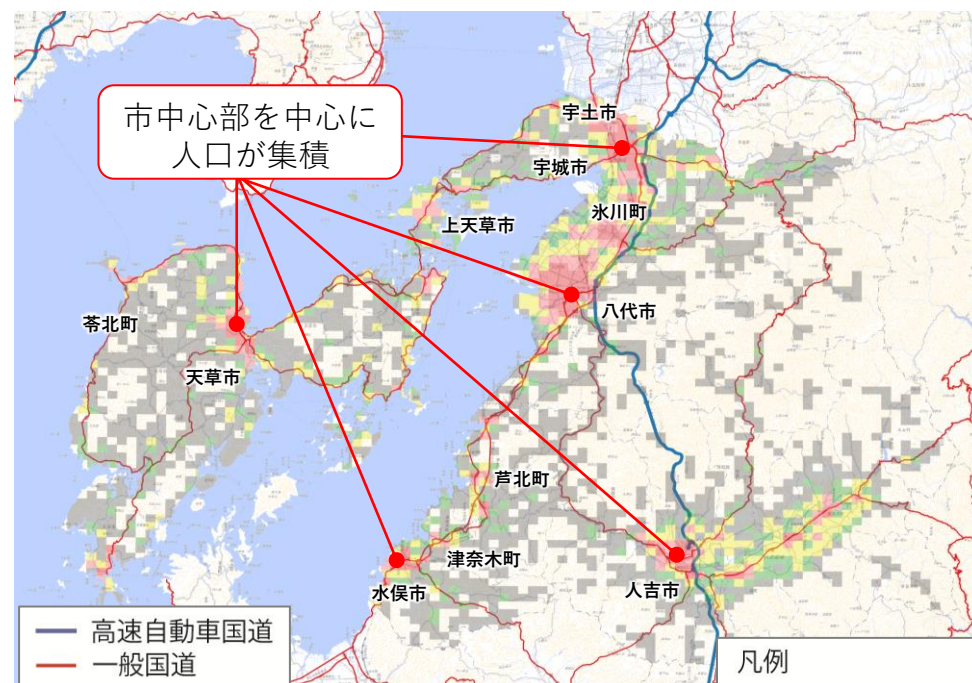
- ・対象地域は21の市町で構成されており、約47万人が居住（熊本県全体の約3割）
- ・人口は、対象地域に広く分布しており、市中心部を中心に集積

■人口分布（市町村単位）



データ：R2国勢調査

■人口分布（メッシュ単位）

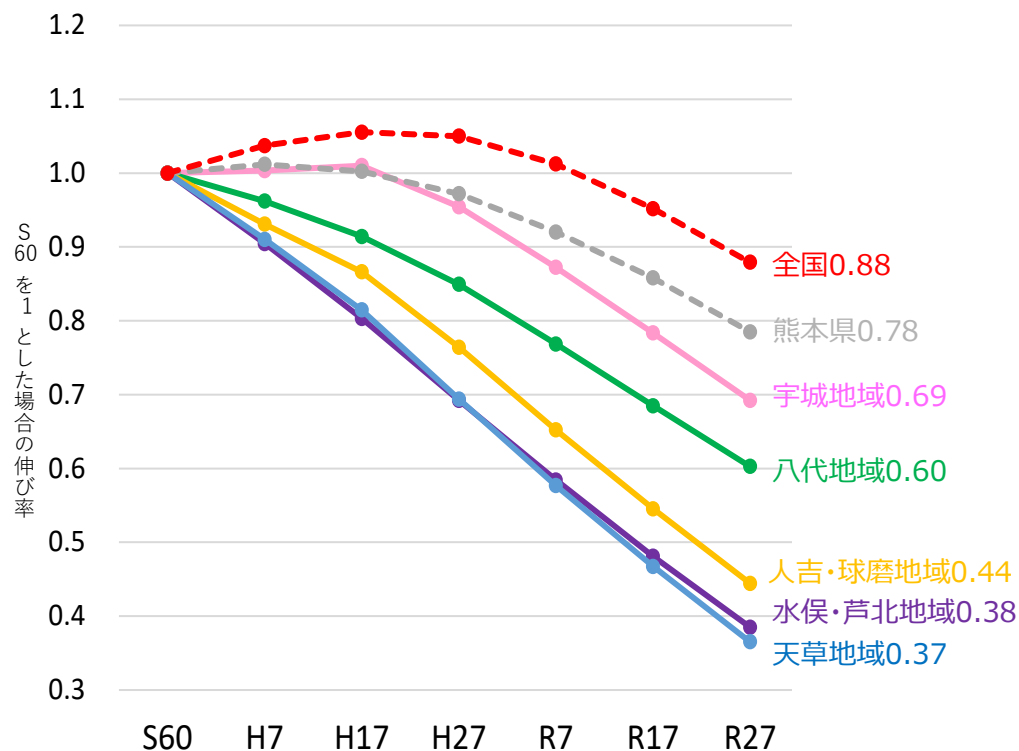


データ：R2国勢調査を基に作成

(3) 人口・高齢化率推移

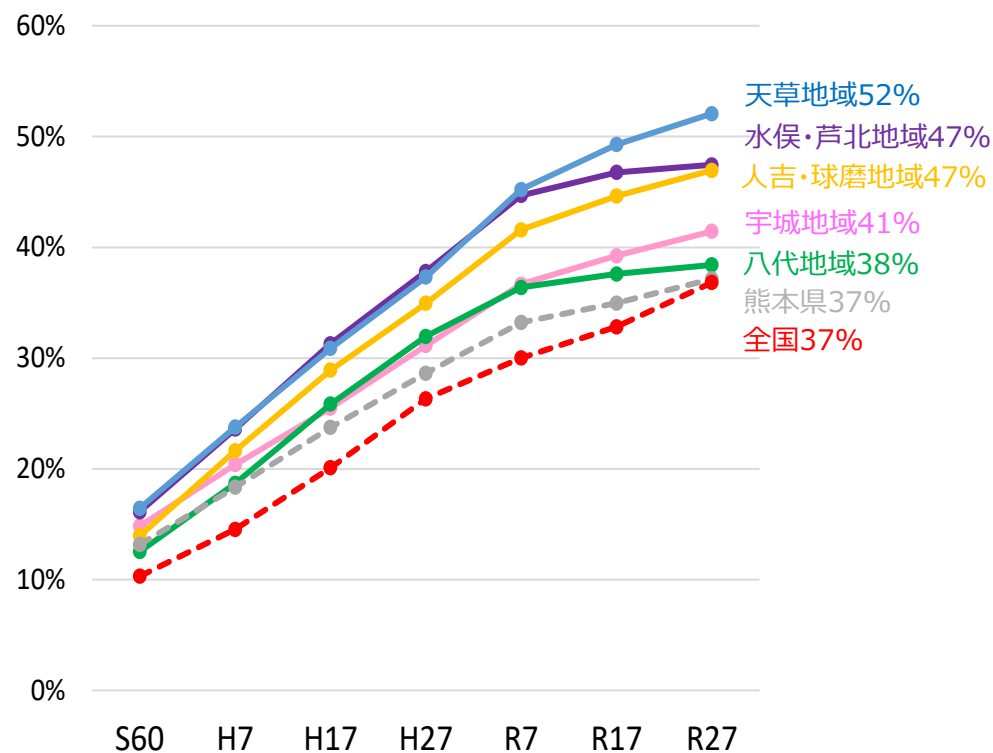
- ・対象地域の人口伸び率は、全国平均に比べて低く、今後も更に人口減少が進む予定
- ・高齢化率も、全国平均に比べて高く、今後も更に高齢化が進む予定

■人口伸び率



データ：S60-R2:国勢調査、R7-R27:日本の地域別将来推計人口 (H30年推計)

■高齢化率

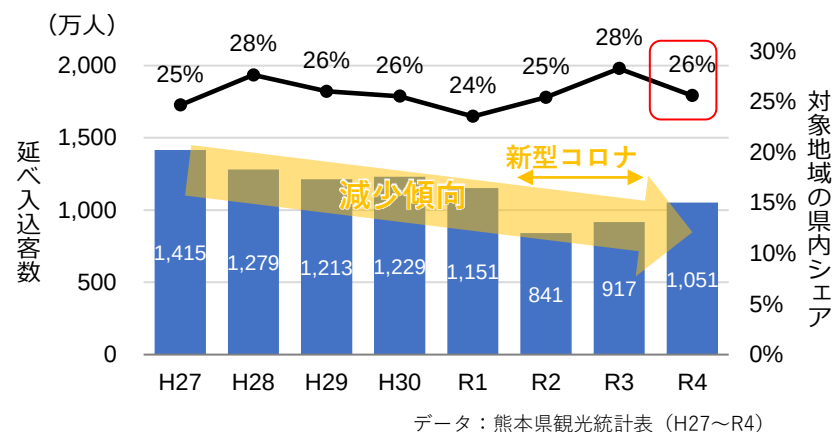


データ：S60-R2:国勢調査、R7-R27:日本の地域別将来推計人口 (H30年推計)

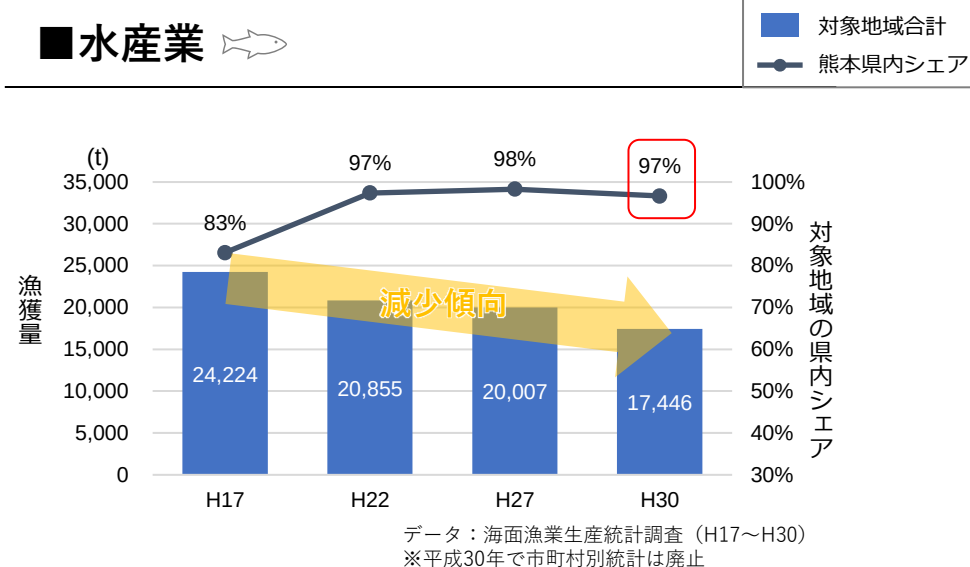
(4) 産業

- ・対象地域の産業活動は全体的に横ばい又は減少傾向
- ・また、熊本県内のシェアは、「観光」「農業」「製造業」は約2割～3割程度であり、「**水産業**」は**97%**を占める

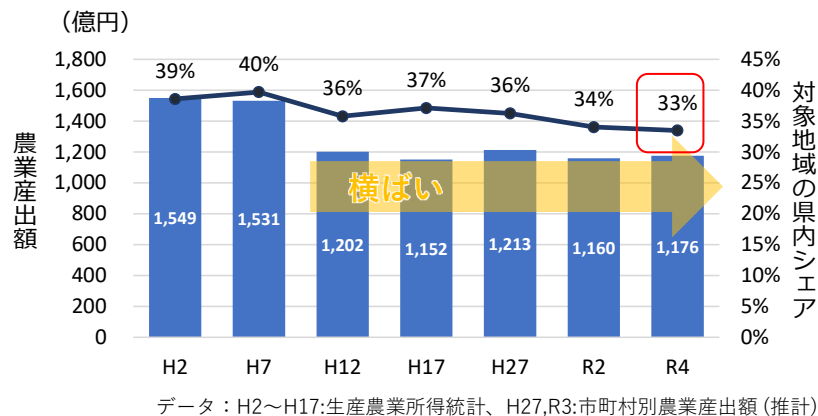
■観光



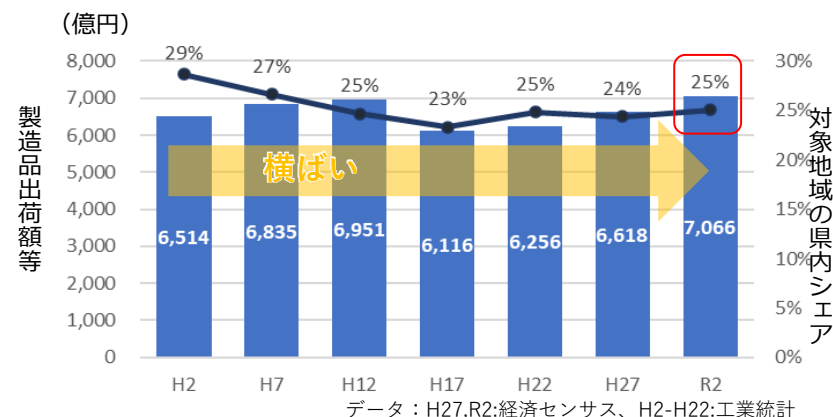
■水産業



■農業



■製造業



(5) 観光

- ・対象地域の観光客数は、熊本県全体の約26%を占め、中では「宇城地域」「天草地域」が比較的多い
- ・これらの地域は、イルカウォッチングや世界遺産、自然公園など魅力ある多種・多様な観光資源に恵まれている

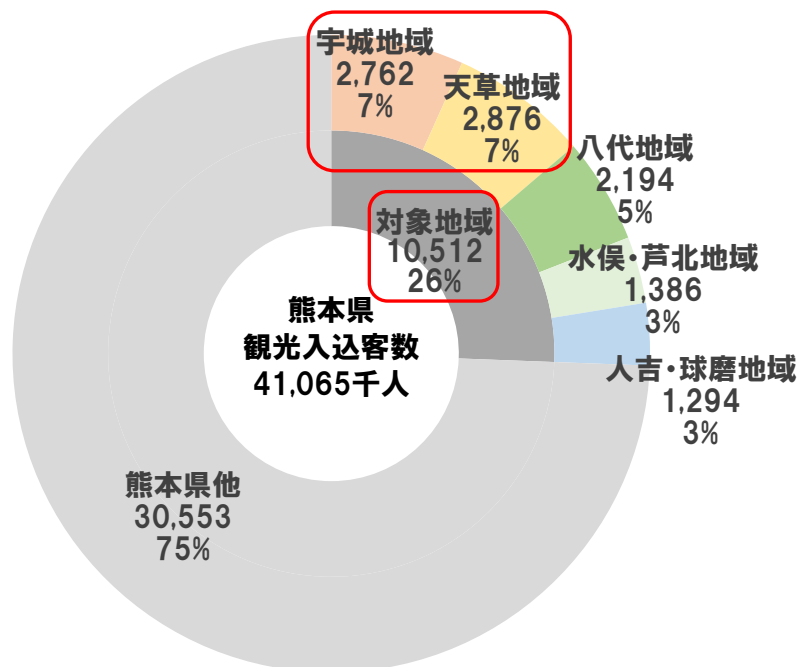
■対象地域の観光入込客と県内シェア



■主な観光地



単位（千人）



■対象地域の観光入込客数県内シェア

データ：R4熊本県観光統計表

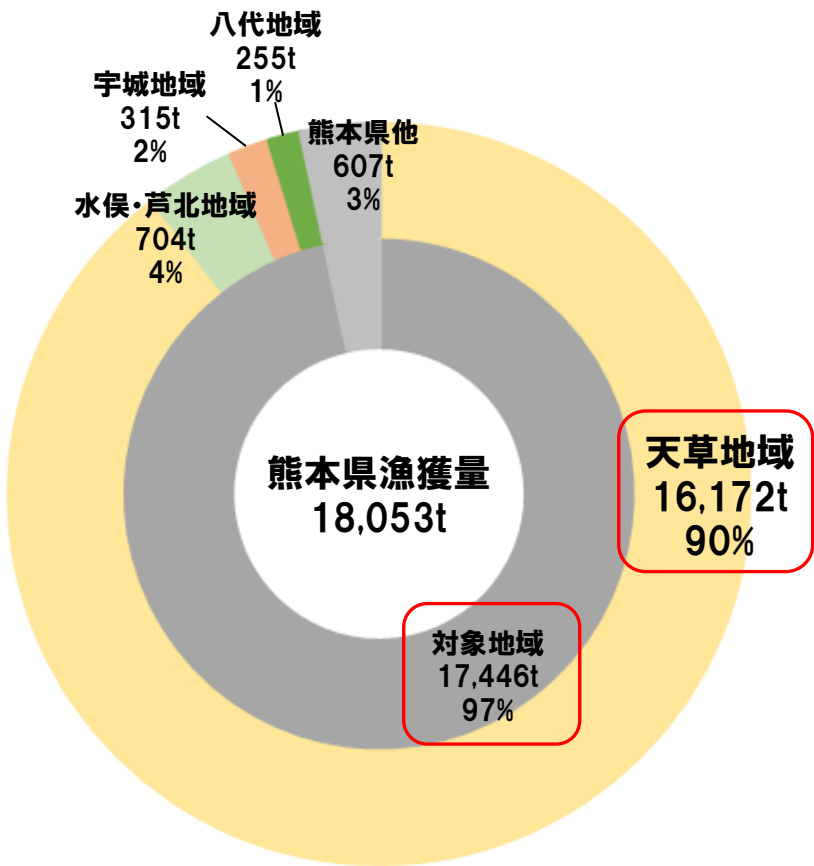


資料：熊本県新広域道路交通計画2021を基に作成
自然公園指定地域と自然由来の主な観光地

(6) 水産業

- 対象地域の漁獲量は、熊本県全体の約97%であり、特に「天草地域」が約90%を占める
- 「天草地域」では、「養殖まだい」「かたくちいわし」「うるめいわし」「そうだかつお類」「このしろ」「海藻類」などが全国有数の漁獲量
- また、「節製品」や「煮干し品」の水産加工工場の立地数も全国有数

■対象地域の漁獲量と県内シェア



データ：海面漁業生産統計調査(H30)

■天草地域の主要水産品と全国順位



市町村	魚種	生産量	全国順位
天草市	養殖まだい	6,919t	3位
	かたくちいわし	3,938t	6位
	うるめいわし	2,746t	6位
	そうだかつお類	330t	7位
	このしろ	164t	9位
上天草市	海藻類	765t	2位
	このしろ	548t	3位

データ：海面漁業生産統計調査(H30) ※全国順位トップ10の魚種を記載

■天草地域の水産加工工場数と全国順位



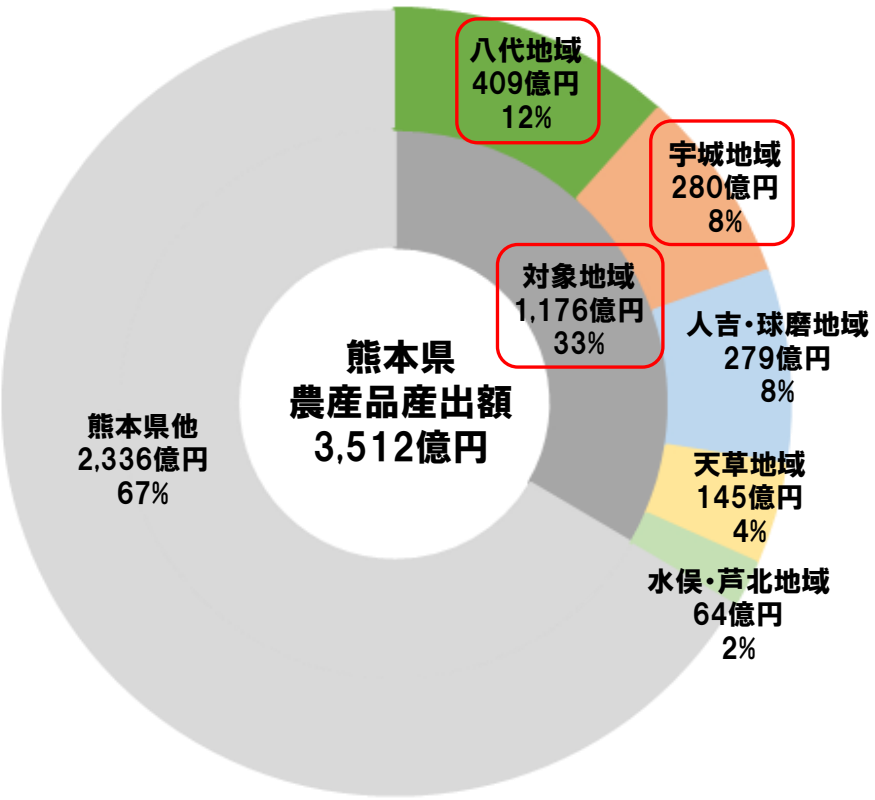
市町村	品目	工場数	全国順位
天草市	節製品	22社	4位
	煮干し品	20社	6位

データ：全国順位 わがマチ・わがムラ（農林水産省DB、R1）※加工工場数全国トップ10を記載

(7) 農業

- ・対象地域の農業算出額は、**熊本県全体の約33%であり**、中でも「八代地域」「宇城地域」が多い
- ・トマト、すいか、葉たばこ、不知火、馬などが、全国の都道府県で第1位の生産額
- ・**八代市では、トマト・レタス、キャベツ、宇城市では、トマトの収穫量が全国有数**

■対象地域の農産品産出額と県内シェア



データ：市町村別農業産出額（推計）R4

■熊本県が全国1位の農産品

県	品目	産出額	全国順位
熊本県	トマト	362億円	全て1位
	すいか	119億円	
	葉たばこ	58億円	
	不知火	84億円	
	馬	22億円	

データ：令和3年 生産農業所得統計

■対象地域の主要農産品と全国順位

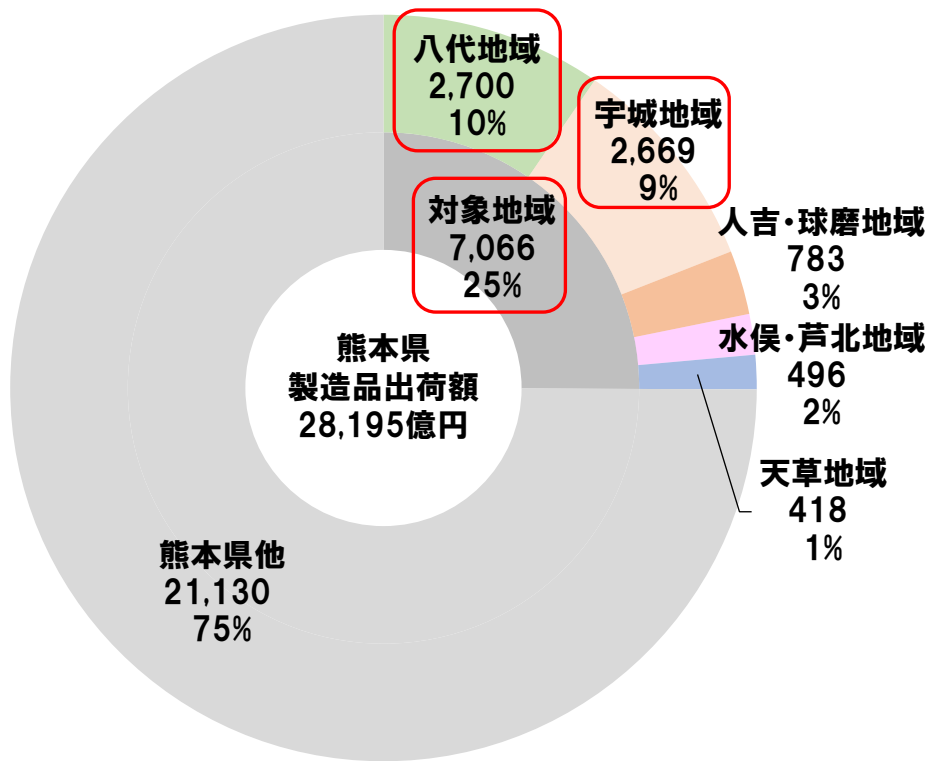
市町村	品目	収穫量	全国順位
八代市	冬春トマト	63,900t	1位
	冬レタス	6,280t	5位
	冬キャベツ	5,540t	6位
	夏秋トマト	4,280t	8位
宇城市	冬春トマト	6,660t	5位

データ：わがマチ・わがムラ（農林水産省DB、R3） ※収穫量全国順位トップ10の品目を記載

(8) 製造業

- ・対象地域の製造品出荷額は、熊本県全体の約25%を占め、中でも「八代地域」「宇城地域」が多い
- ・食料品製造業、金属製品製造業、化学工業などの業種のシェアが高く、特に、「宇城地域」の化学工業や「八代地域」の金属製品製造業は、熊本県内の約4～5割を占める

■対象地域の製造品出荷額と県内シェア

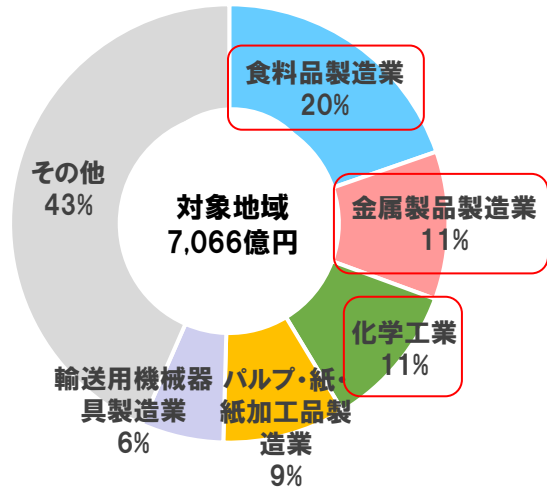


データ：R3経済センサス

■主な業種と県内シェア



《対象地域の製造業種別の出荷額の割合》



《対象地域の県内シェア》

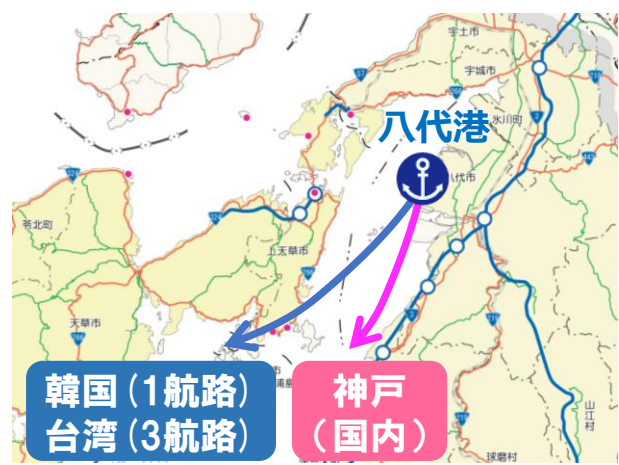
	食料品製造業	化学工業	金属製品製造業
宇城地域	26.0%	48.6%	23.7%
八代地域	10.7%	33.0%	38.7%
水俣・芦北地域	0.0%	13.0%	0.0%
人吉・球磨地域	0.2%	0.0%	1.7%
天草地域	5.4%	0.0%	2.4%

データ：R3経済センサス

(9) 港湾

- ・「八代港」はコンテナ貨物取扱量が九州7位
- ・海外の取扱い、輸出項目のうち約6割が木材、輸入項目のうち約3割が木材チップ、国内の取扱いは移出、移入共に約4割がセメント

■八代港の国外・国内航路



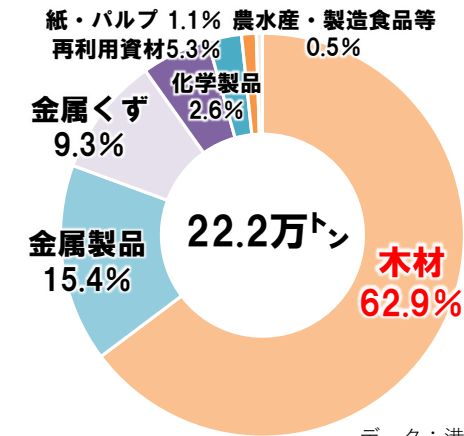
■コンテナ貨物取扱量 九州トップ10

単位：TEU

コンテナ貨物取扱量			海外輸出入					国内移出入						
順位	港湾	総量	順位	港湾	海外輸出	順位	港湾	海外輸入	順位	港湾	国内移出	順位	港湾	国内移入
1	博多	981,414	1	博多	418,187	1	博多	413,905	1	鹿児島	104,564	1	博多	77,072
2	北九州	510,914	2	北九州	213,973	2	北九州	208,525	2	博多	72,250	2	北九州	44,701
3	鹿児島	140,613	3	志布志	31,068	3	志布志	36,006	3	北九州	43,715	3	鹿児島	34,433
4	志布志	101,083	4	伊万里	21,389	4	伊万里	21,658	4	志布志	17,912	4	大分	17,933
5	大分	63,731	5	大分	18,526	5	大分	14,127	5	大分	13,145	5	志布志	16,097
6	伊万里	45,938	6	八代	11,848	6	八代	11,038	6	長崎	7,202	6	名瀬	12,540
7	八代	26,972	7	細島	11,019	7	細島	7,881	7	名瀬	6,881	7	西之表	9,280
8	細島	24,269	8	川内	8,850	8	川内	5,540	8	福江	6,390	8	長崎	6,445
9	名瀬	19,421	9	熊本	4,104	9	熊本	5,250	9	宮之浦	5,073	9	福江	6,390
10	川内	18,779	10	三池	2,945	10	三池	3,746	10	八代	1,920	10	宮之浦	4,051
												13	八代	2,166

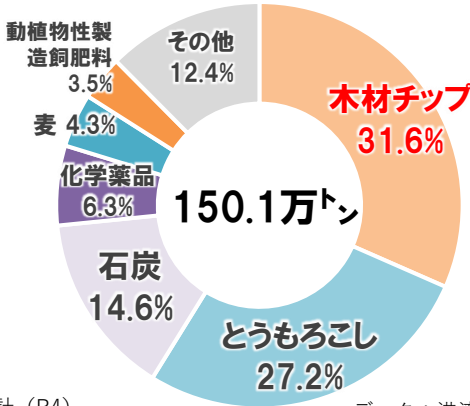
■八代港の輸出入品目と移出入品目

データ：港湾統計 (R5)



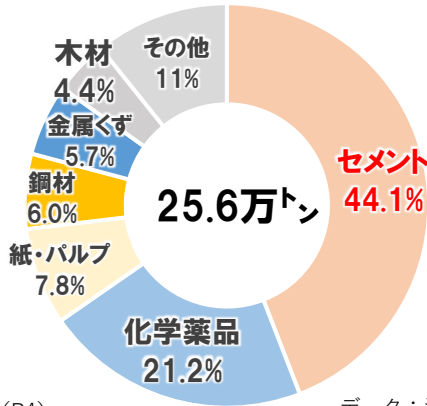
データ：港湾統計 (R4)

■海外輸出品目



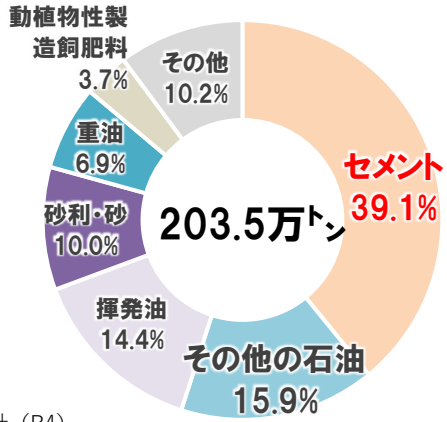
データ：港湾統計 (R4)

■海外輸入品目



データ：港湾統計 (R4)

■国内移出品目



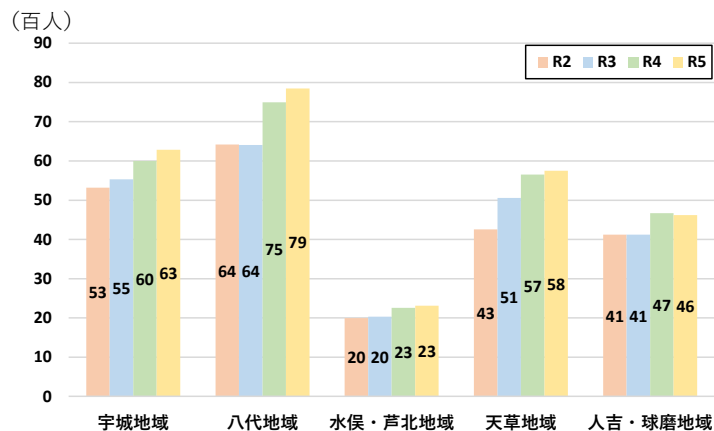
データ：港湾統計 (R4)

■国内移入品目

(10) 救急医療

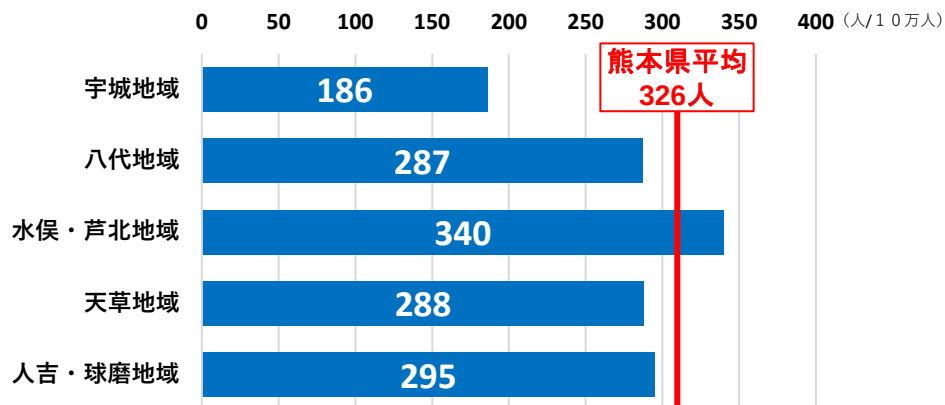
- ・対象地域の救急搬送件数は増加傾向であり、また人口10万人あたりの医師数が殆どの地域で熊本県平均を下回る
- ・対象地域には第三次救急医療施設がない

■救急搬送件数



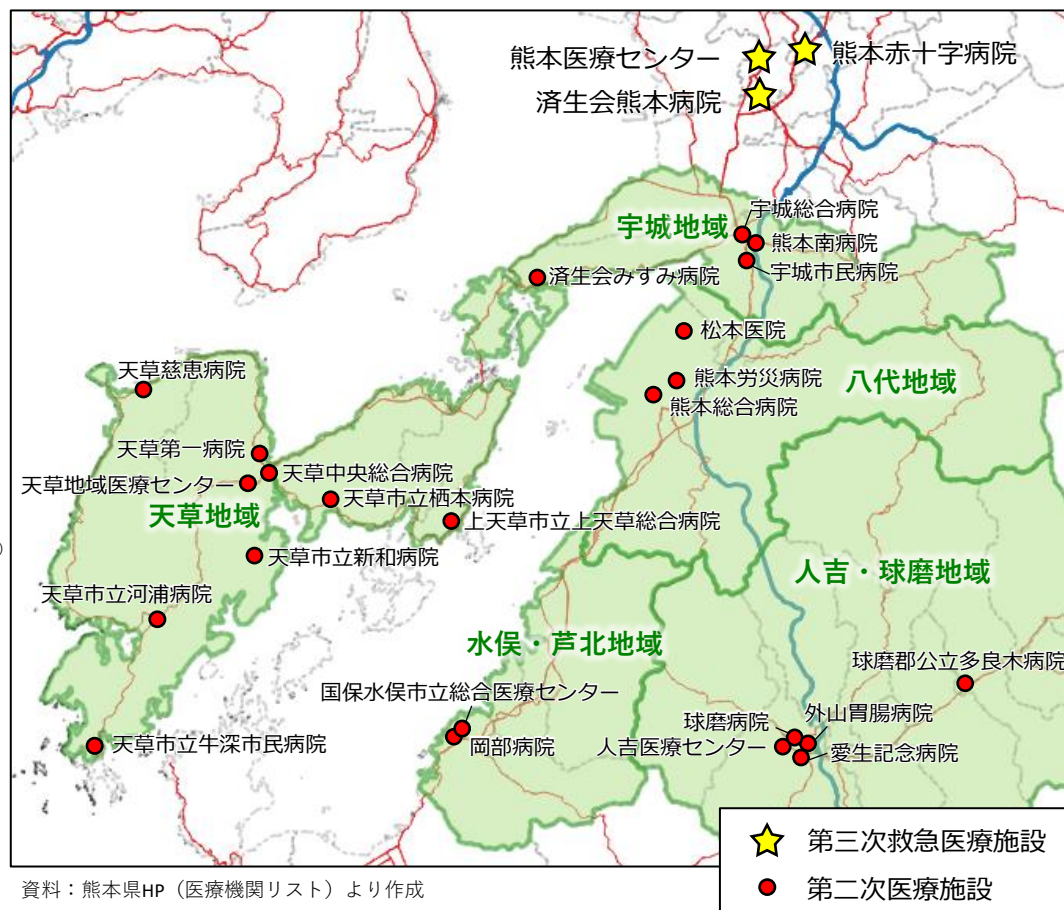
資料：各消防本部の消防年報

■人口10万人あたりの医師数



データ：日本医師会総合政策研究機構

■第三次救急医療施設及び第二次医療施設

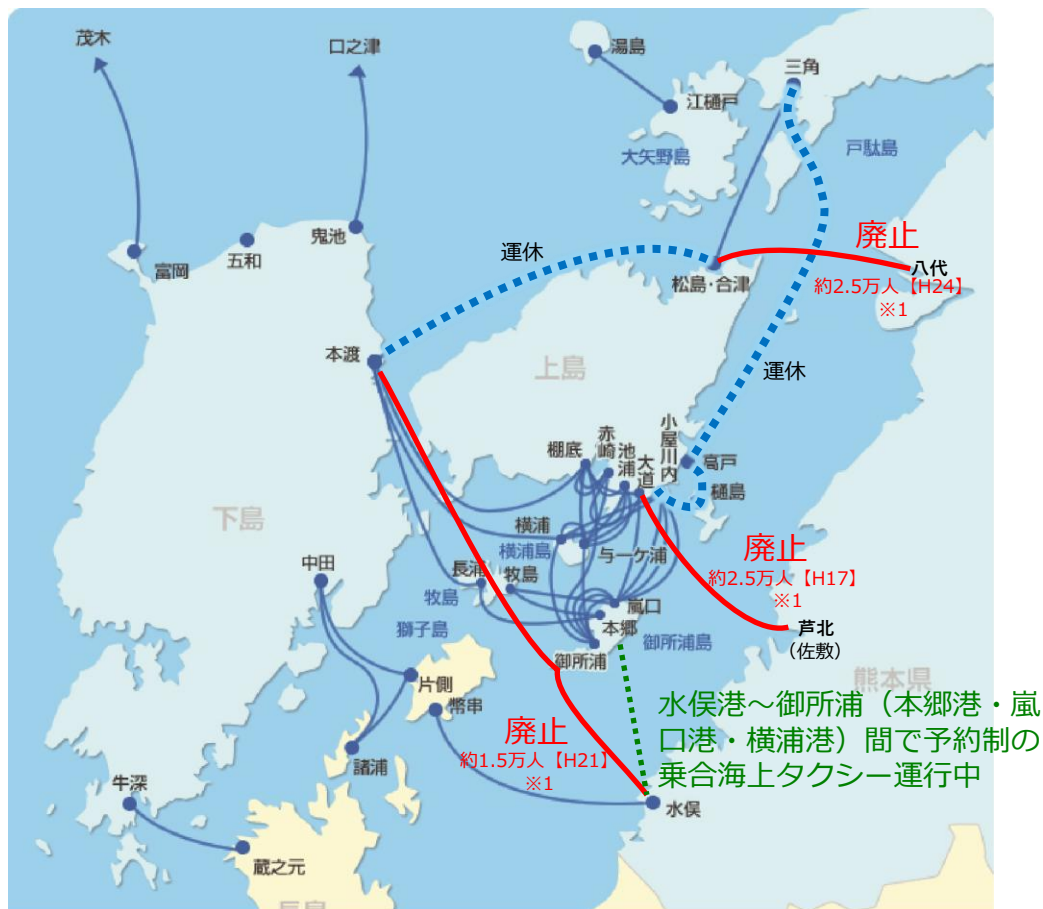


資料：熊本県HP（医療機関リスト）より作成

(11) 旅客船航路と航空航路

- ・対象地域の旅客船航路は、八代港、芦北港、水俣港と「天草地域」とを結ぶ航路が廃止
- ・天草空港からは福岡空港、熊本空港を結ぶ路線が運行し、利用者数は回復傾向

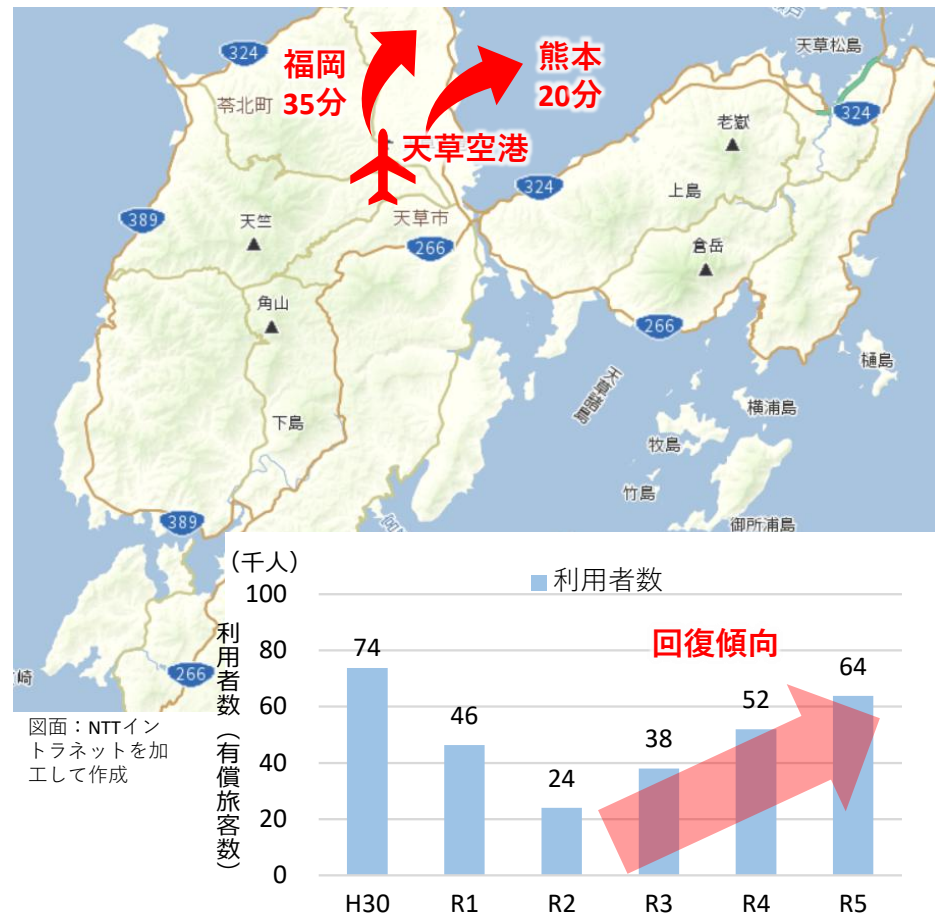
■旅客船航路



資料：九州旅客船教会連合会ホームページ、天草市ホームページ、松島・八代航路に関わる調査報告（H25.8）、自治体ヒアリング結果、くまもとの港湾（H14）を元に作成

※1：航路廃止年と廃止年における輸送人員

■航空路線



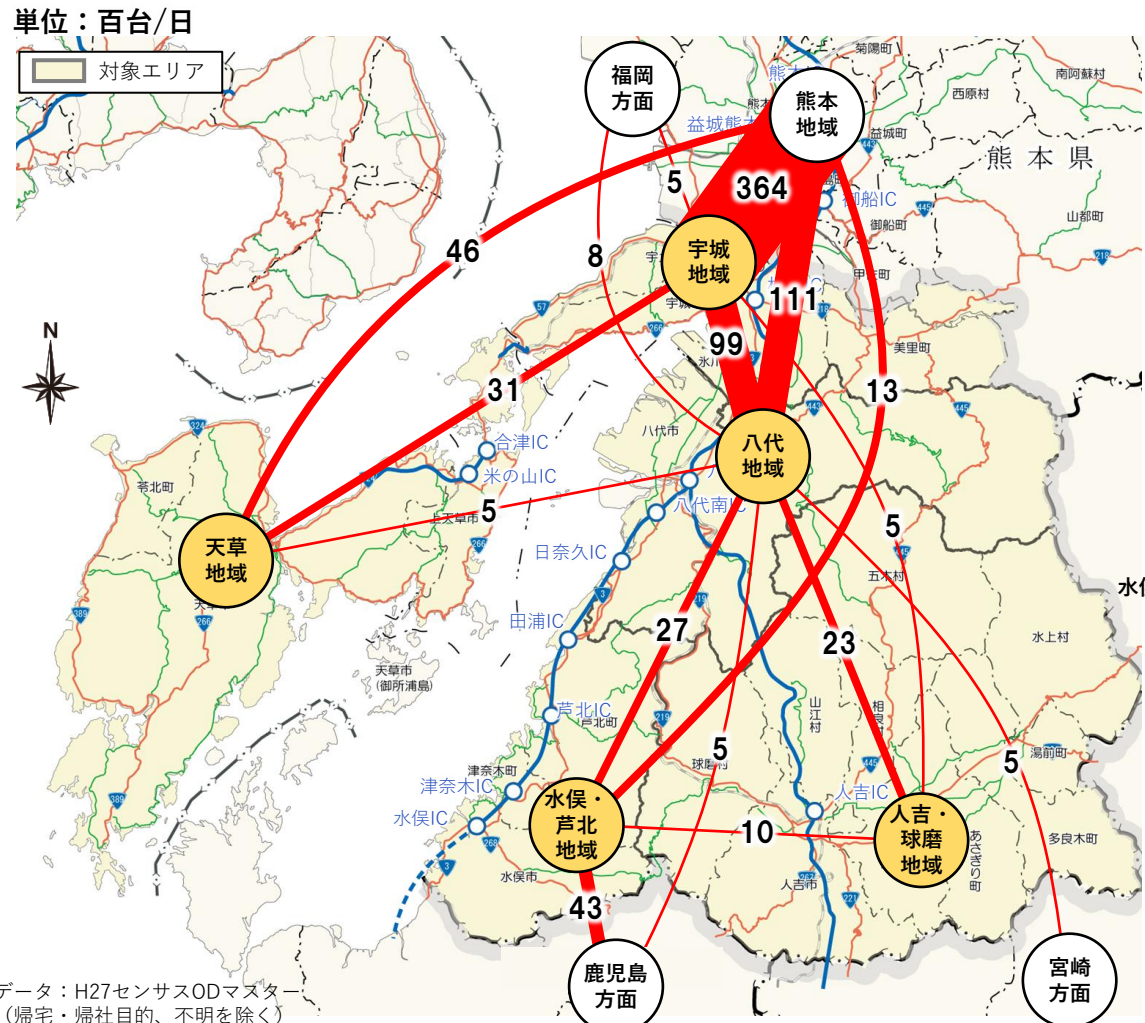
図面：NTTインターネットを加工して作成

資料：天草エアライン株式会社の経営状況を説明する書類（熊本県 R6.9）

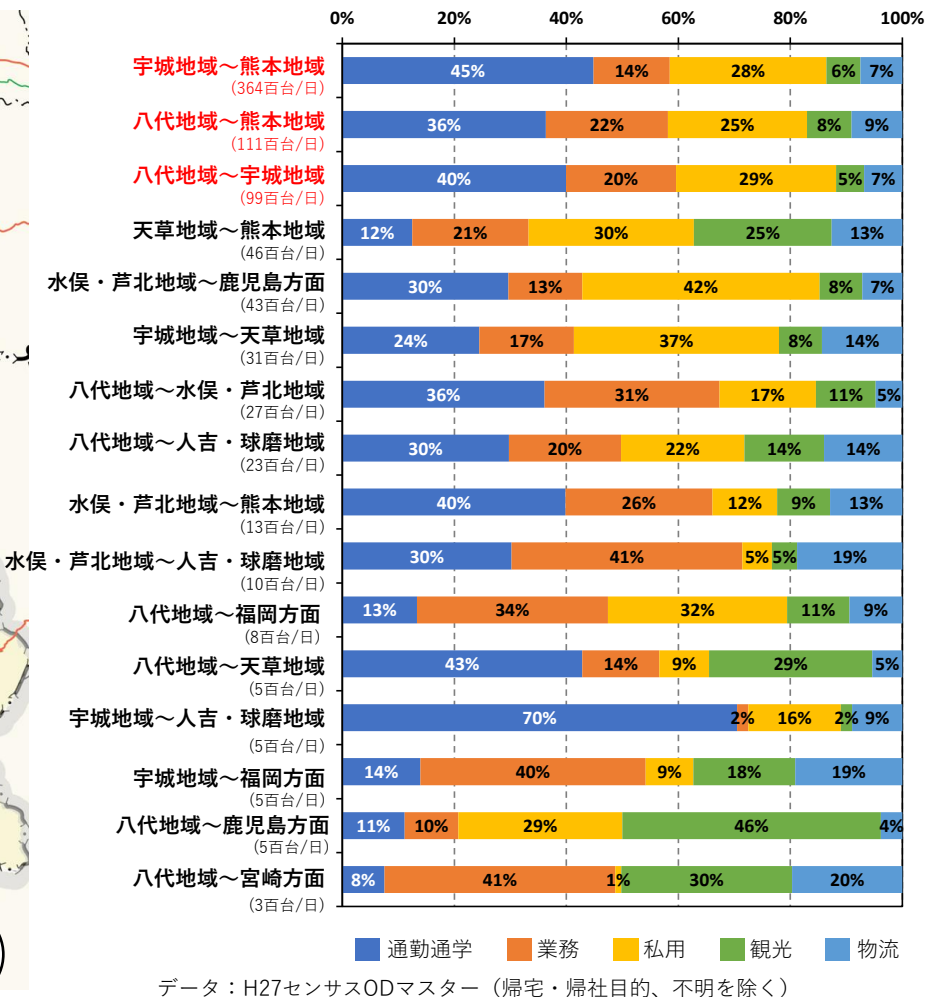
(1) 交通流動

- ・対象地域の交通流動は、「熊本地域」「宇城地域」「八代地域」間が多い
- ・一方、「天草地域」「八代地域」「水俣・芦北地域」「人吉・球磨地域」間の交通流動は少ない

■対象エリアの自動車流動



■対象エリアの主な自動車流動の目的内訳



(2) 道路状況 <交通量・車線数>

・対象地域の交通量は、人吉ICまでの九州自動車道、宇土市、宇城市、氷川町、八代市の国道3号、宇土市の国道57号において15,000台/日以上

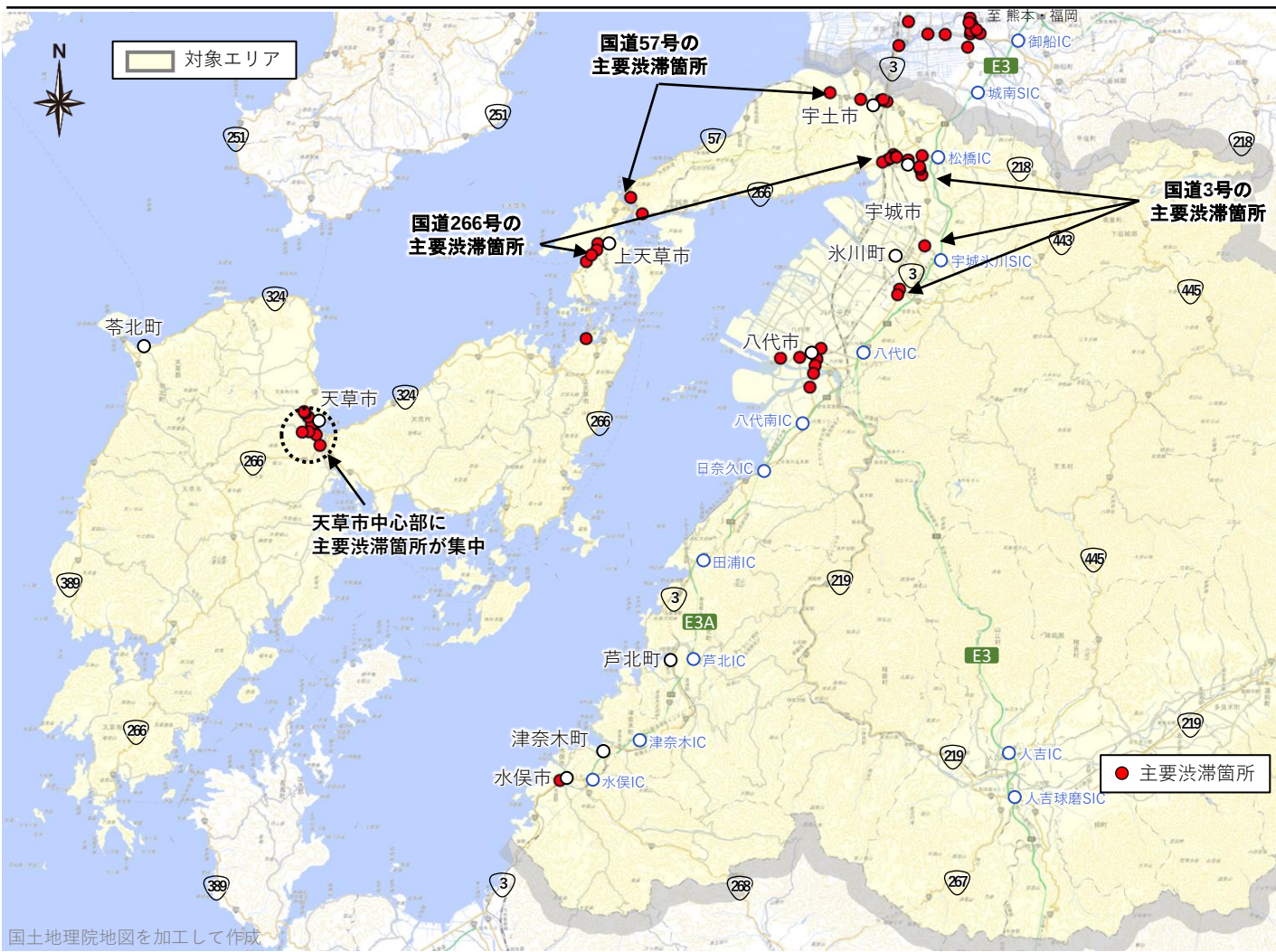
■対象エリアの交通量と車線数



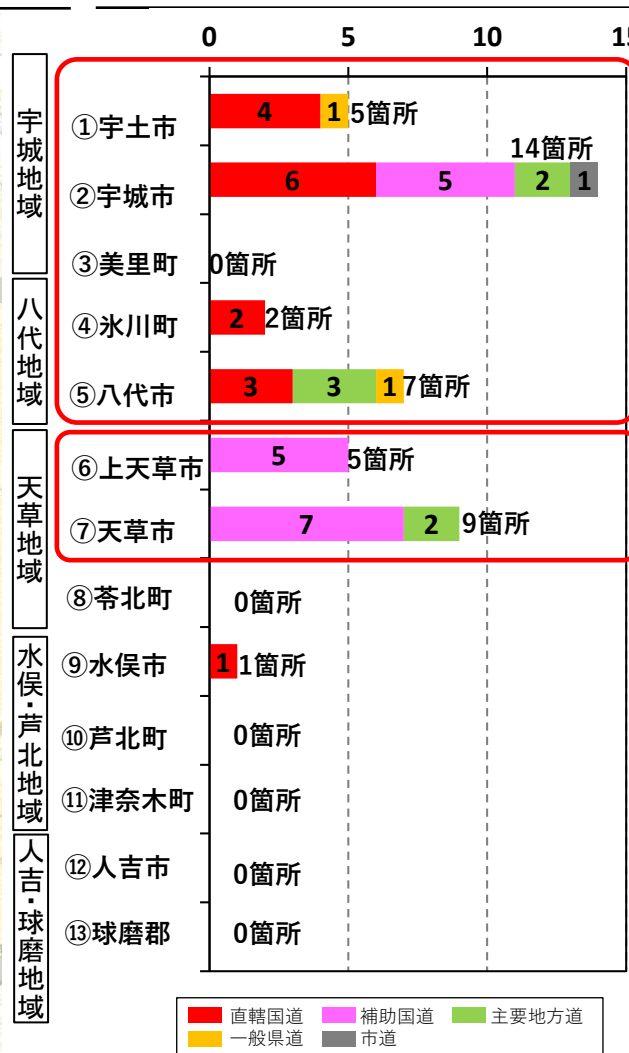
(3) 主要渋滞箇所

- ・熊本市に隣接する「宇城地域」「八代地域」「天草地域」に主要渋滞箇所が多く、宇城市が最も多い
- ・路線では、「宇城地域」「天草地域」は国道57号や国道266号、「八代地域」は国道3号などに集中

■対象エリアの主要渋滞箇所



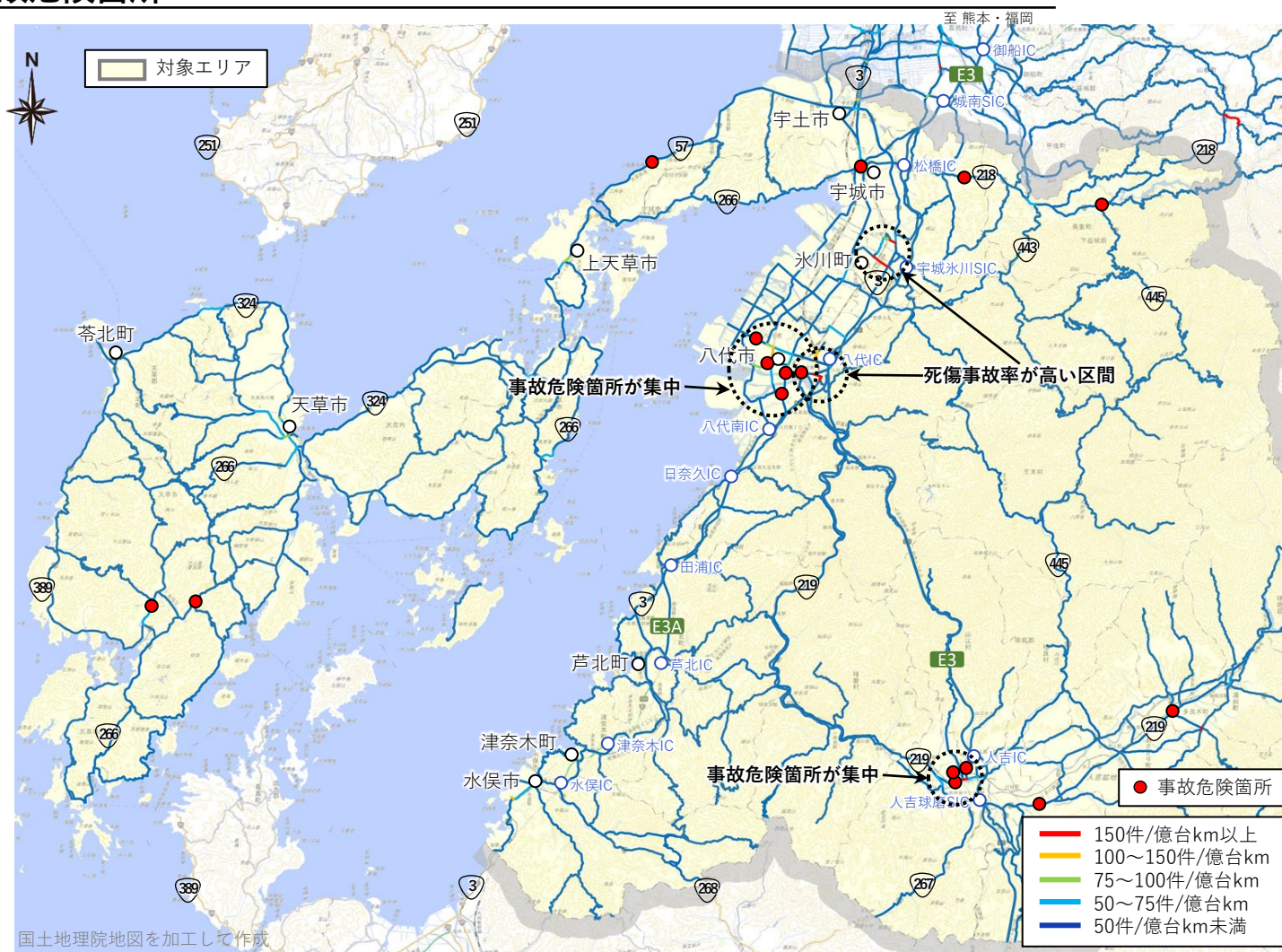
■市町別の主要渋滞箇所数



(4) 交通事故

- ・八代市と氷川町で死傷事故率の高い区間が存在
- ・事故危険箇所は八代市、人吉市の中心部に集中

■対象エリアの事故危険箇所



(5) 地域間のアクセス性

- ・隣接する地域間のアクセス性は、高速道路でアクセスできる「宇城地域～八代地域」、及び「八代地域～水俣・芦北地域」、「八代地域～人吉・球磨地域」で平均旅行速度が50km/h以上
- ・一方、「天草地域～宇城地域」、「水俣・芦北地域～人吉・球磨地域」の平均旅行速度は50km/h未満であり、特に「天草地域～宇城地域」は、速度が遅く所要時間も89分を要する

■ 地域間のアクセス性



地域間アクセス性

上段：地域間の距離
中段：地域間の所要時間
下段：地域間の平均速度

速度50km/h未満
速度50km/h以上

※下記の市役所間で算出
宇城地域：宇城市役所
八代地域：八代市役所
天草地域：天草市役所
水俣・芦北地域：水俣市役所
人吉・球磨地域：人吉市役所

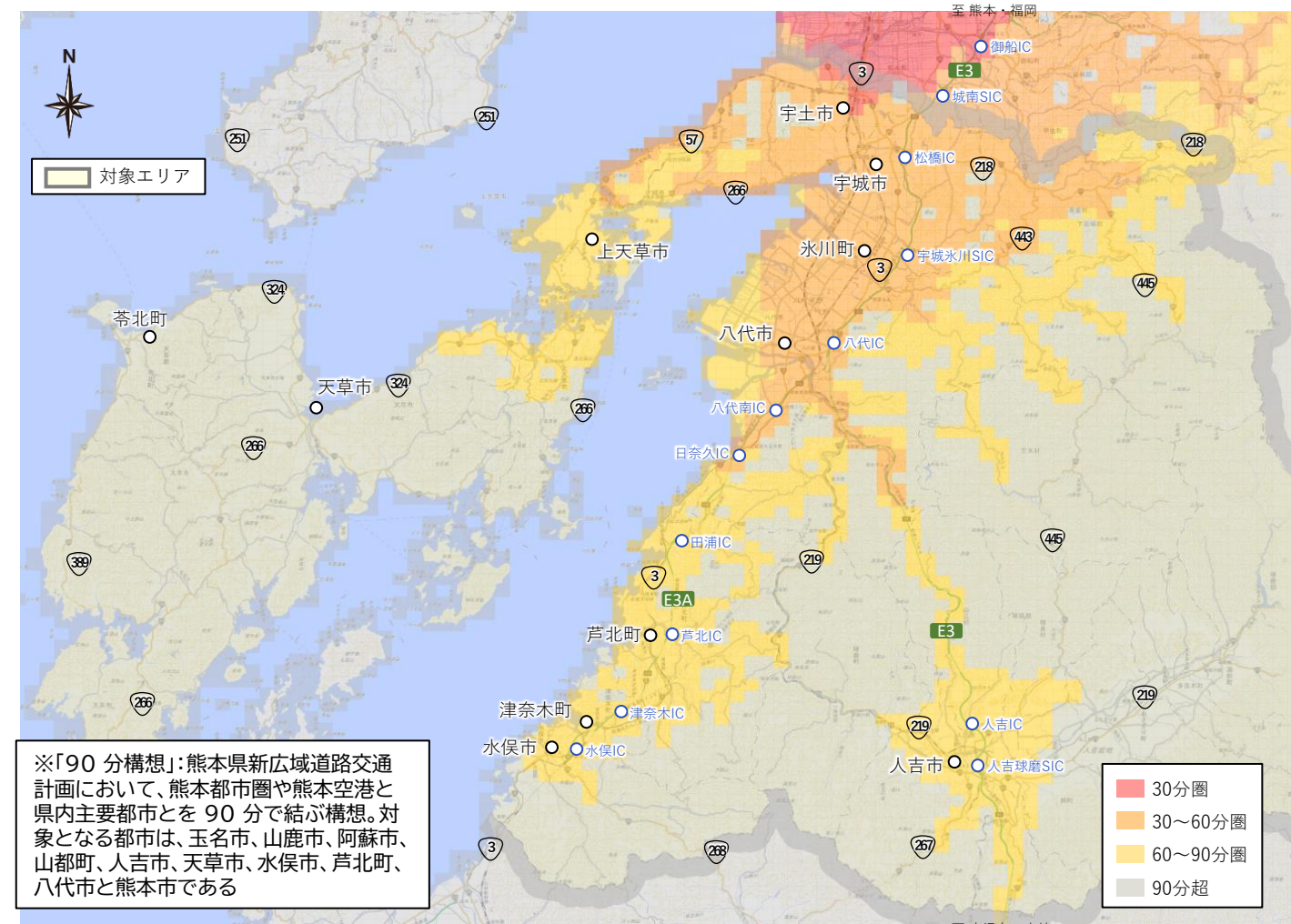
20km/h未満
20～30km/h
30～40km/h
40～50km/h
50km/h以上

走行速度：ETC2.0（R4年度平日平均 朝7-9時、夕17-19時の一番低い時間帯の速度を图示）
所要時間：所要時間が最短なる経路で算出

(6) 中心都市へのアクセス性

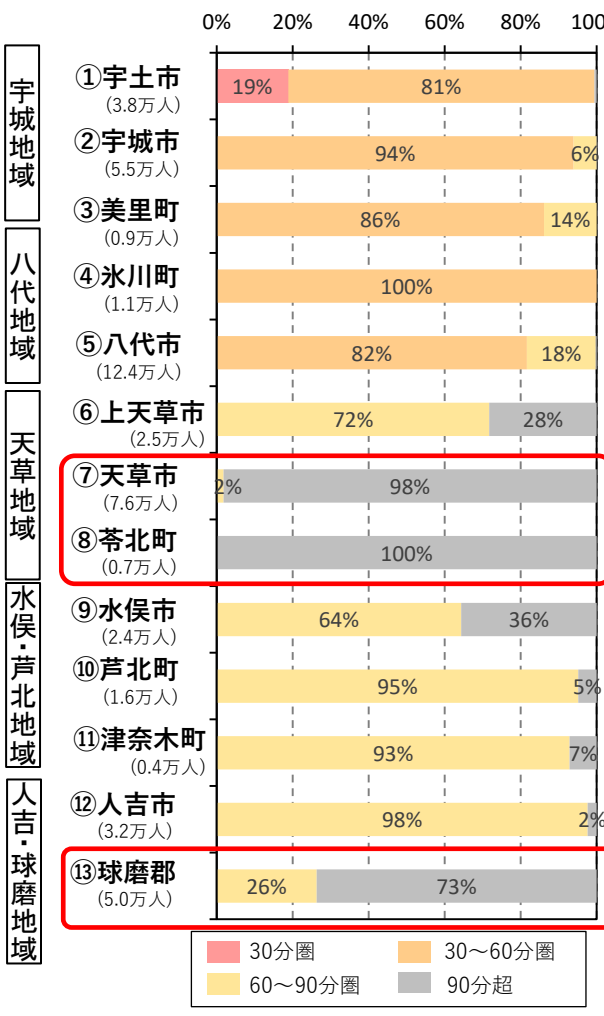
- ・県庁所在地の熊本市へのアクセス性は、高速道路沿線で高い
- ・人口カバー率で見ると**天草市**、**苓北町**、**球磨郡**において熊本市から90分超の割合が高い

■熊本市からの時間圏



データ：ETC2.0（R4年度平日7-19時平均） ※熊本市役所を起点として時間圏を算出

■熊本市からの人口カバー率

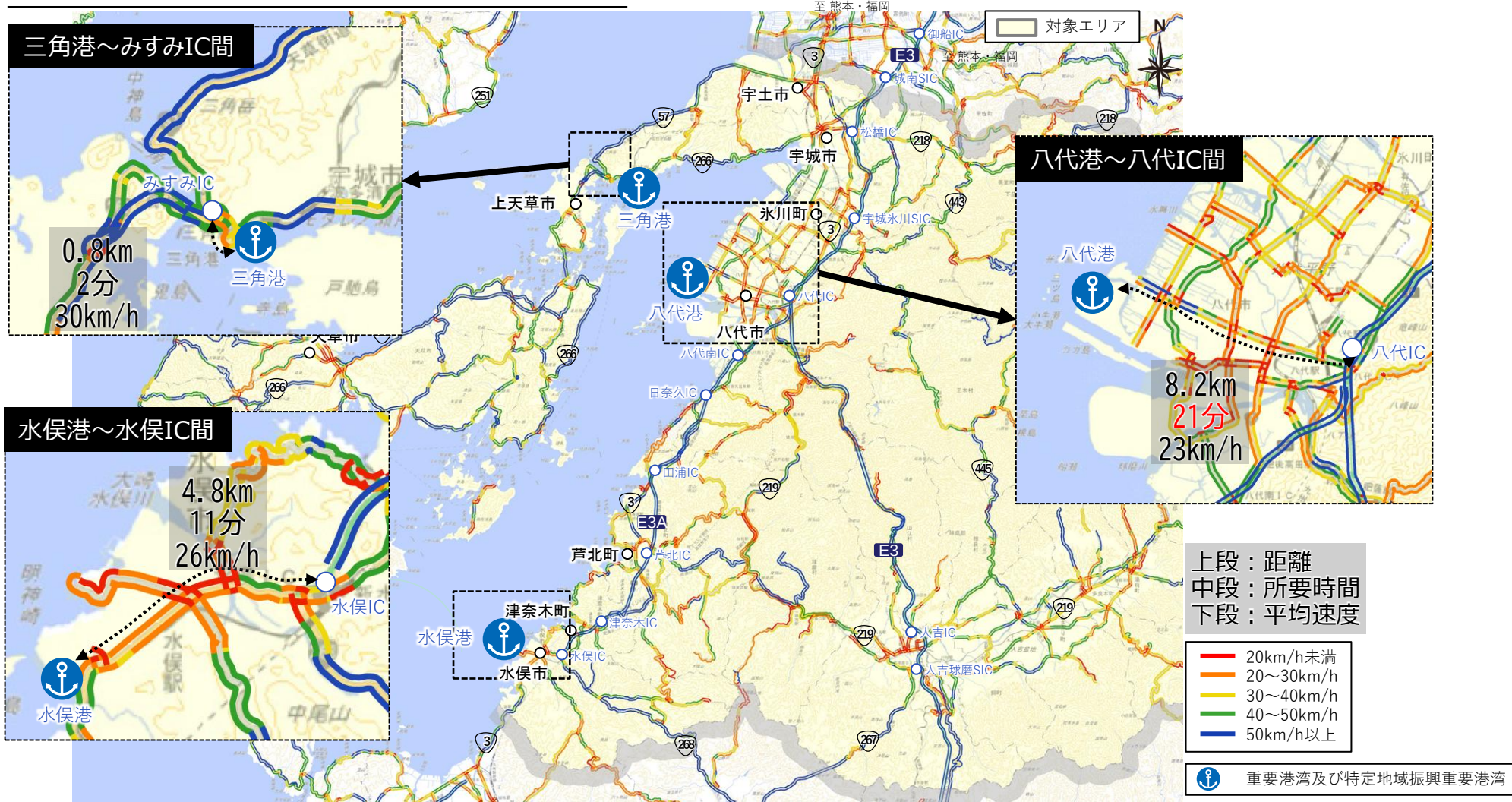


データ：国勢調査(R3)

(7) 港湾と高速ICのアクセス性

・対象地域の主要な3港の内、「八代港」と「高速IC」のアクセス性が最も低い

■ 港湾と高速ICのアクセス性



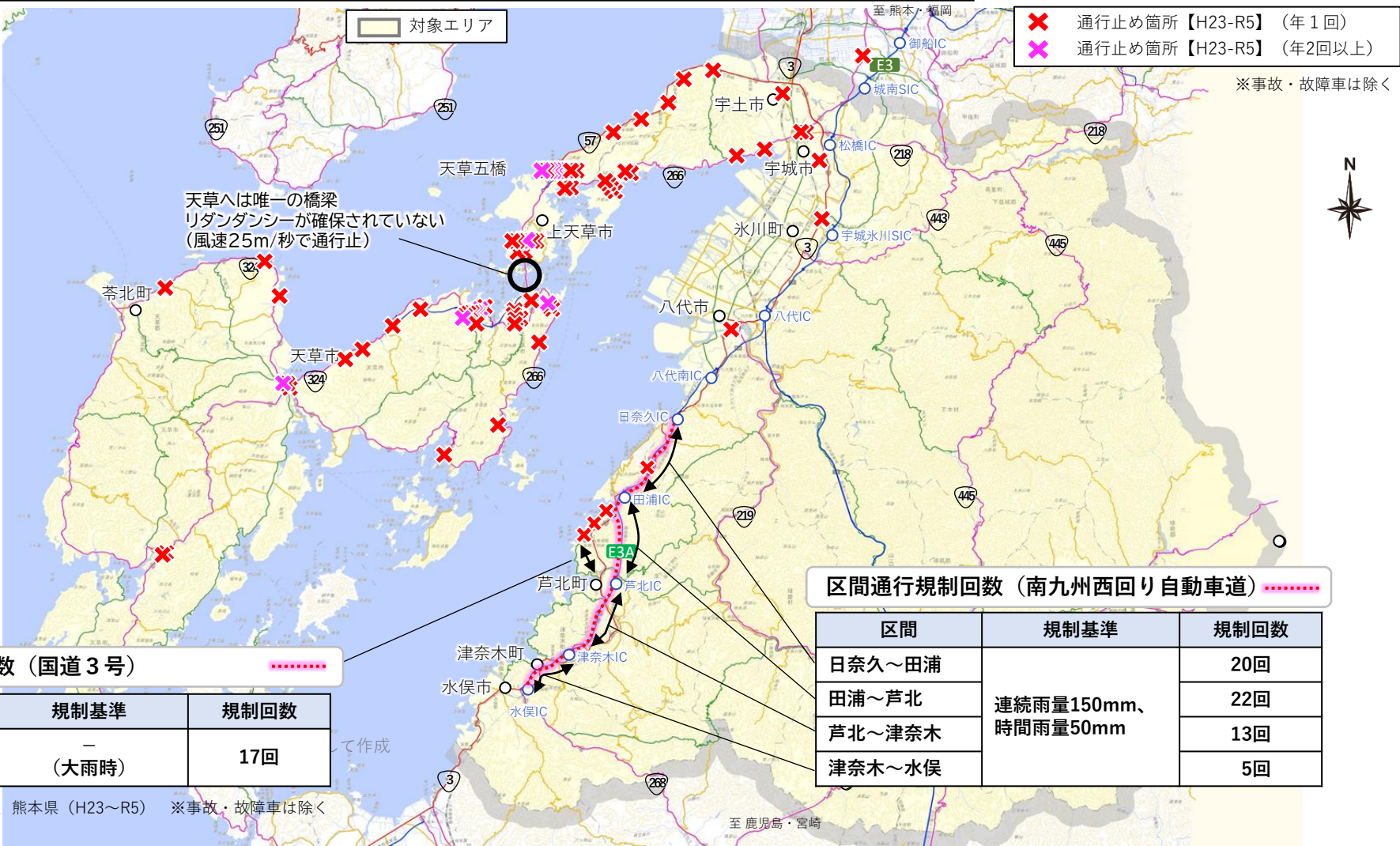
データ：ETC2.0（R4年度平日平均 朝7-9時、夕17-19時の低い方の速度を图示）

至 鹿児島・宮崎

(8) 災害による通行止め

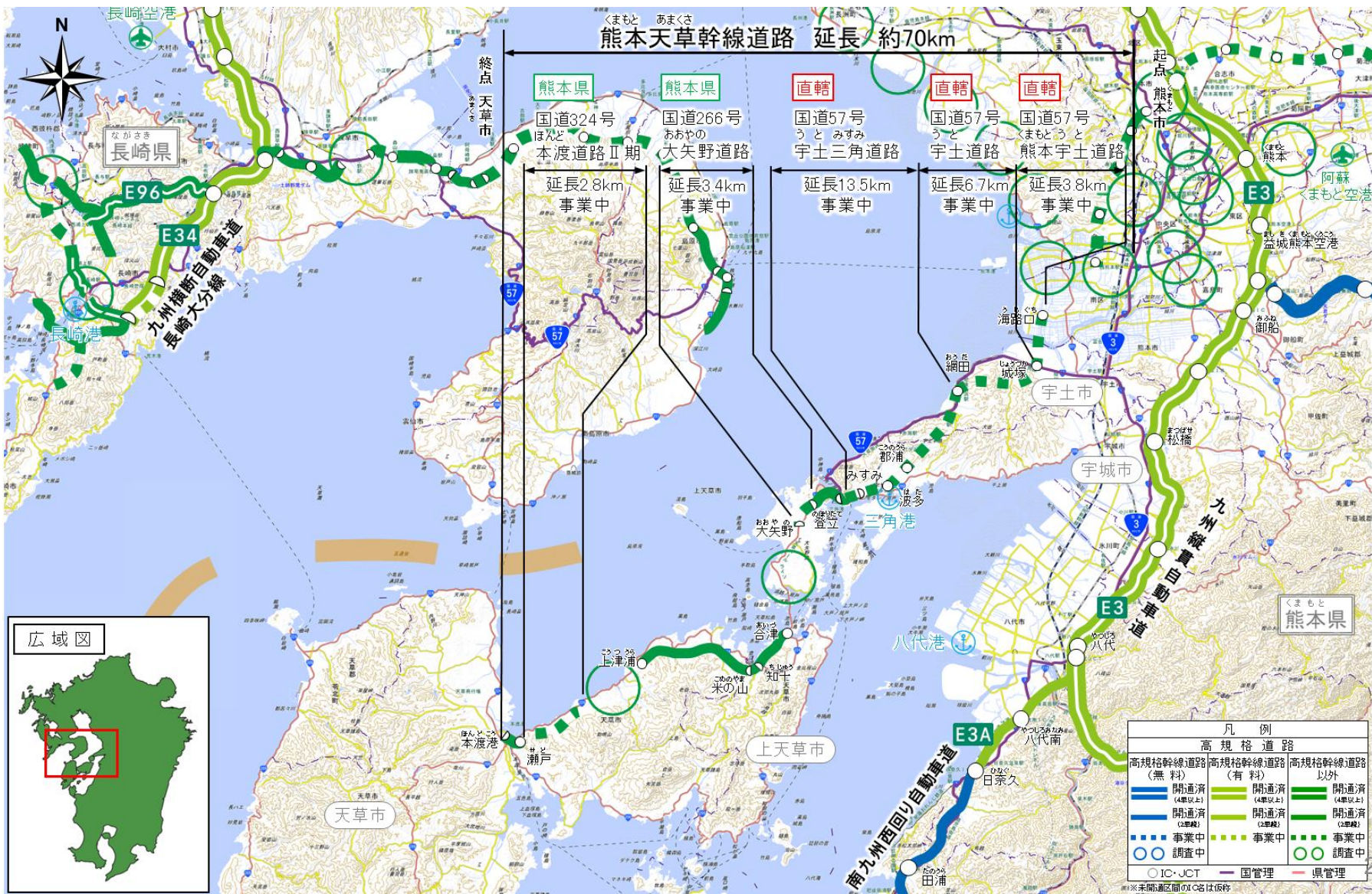
・天草半島は、**国道57号、国道324号、国道266号**に災害時の通行止め箇所が集中

■対象エリアの通行規制履歴（H23～R5）



(9) 道路状況 <熊本天草幹線道路の整備状況>

・全体延長約70kmのうち、開通済みが約26%、事業中が約43%となっている



(10) 道路状況 <南九州道西回りの整備状況>

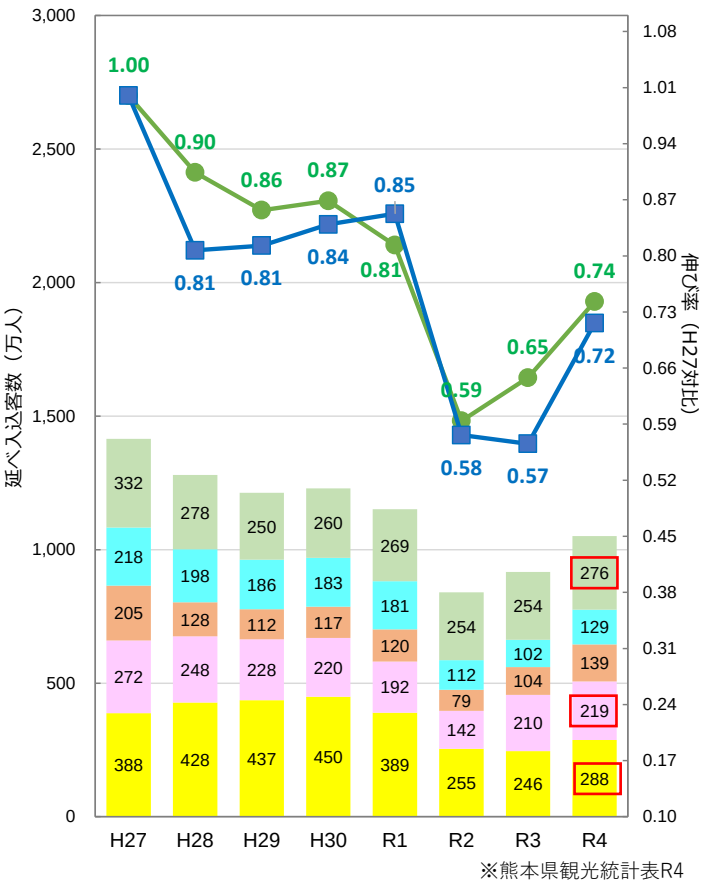
・全体延長約142kmのうち、開通済みが約63%、事業中が約37%となっている



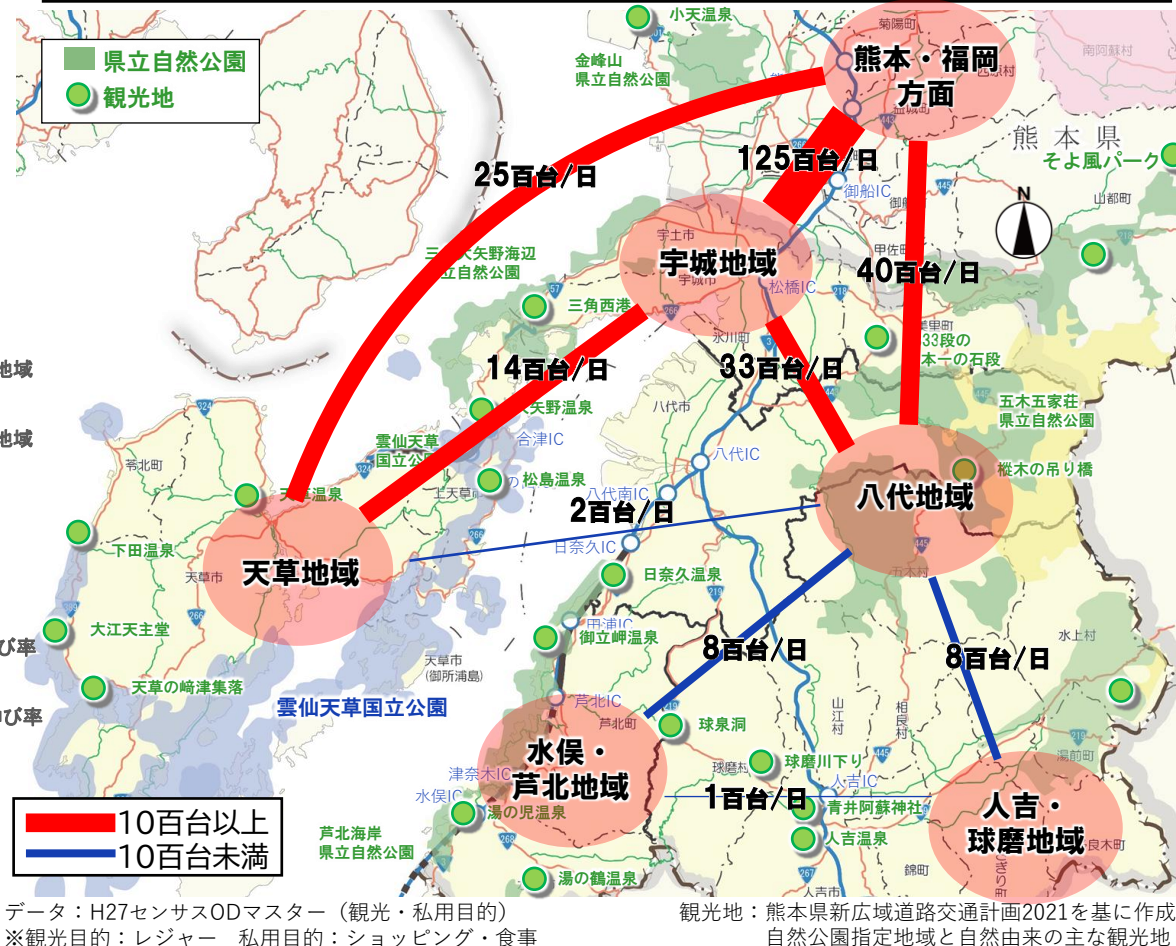
(1) 観光

- ・対象地域の観光入込客数は、熊本県平均の伸び率より高い水準で推移。「天草地域」「宇城地域」「八代地域」は、年間200万人以上が来訪(R4)
- ・「熊本・福岡方面～宇城地域」「熊本・福岡方面～八代地域」等の観光流動は多いが、「天草地域」「八代地域」「水俣・芦北地域」「人吉・球磨地域」など、対象地域南部間の観光流動は少なく、連携強化が課題

■地域別の観光入込客数の推移



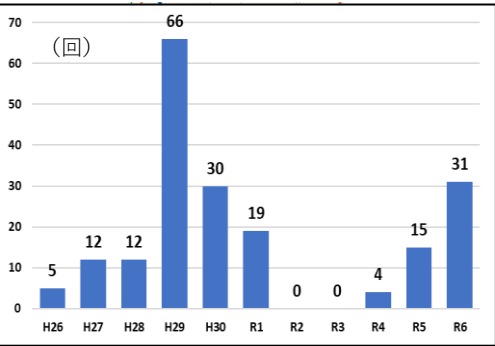
■観光目的流動



(2) 観光(クルーズ船)

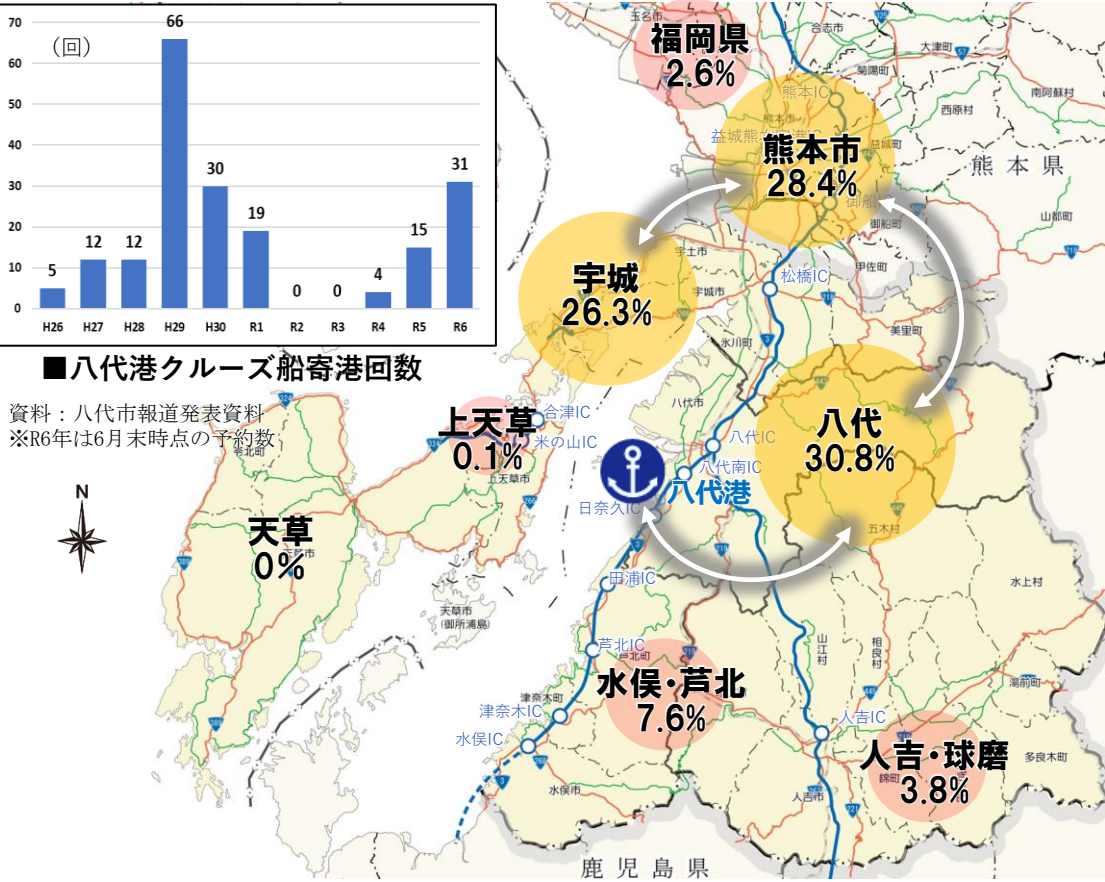
- ・クルーズ船のバスツアーは、「八代港」から90分圏内の「八代地域」、「宇城地域」に多い
- ・一方、「天草地域」は豊富な観光資源があるものの、クルーズ船のバスツアーの計画が少ない
- ・クルーズ船寄港に伴う経済効果をより波及させるための連携強化が課題

クルーズ船のバスツアーの行先



八代港クルーズ船寄港回数

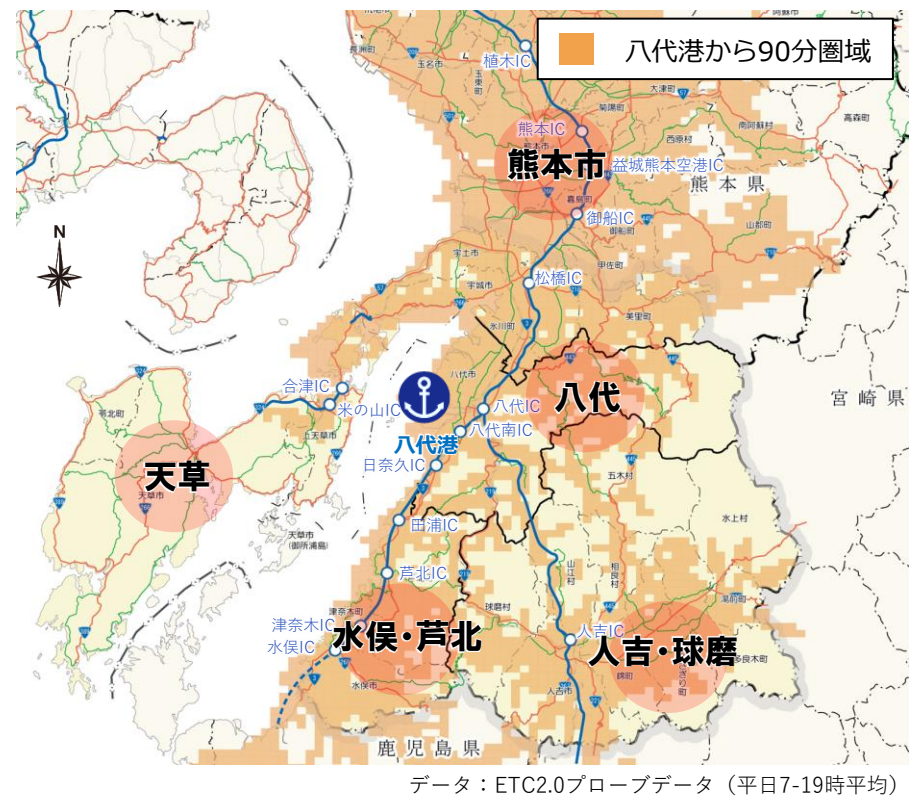
資料：八代市報道発表資料
※R6年は6月末時点の予約数



データ：八代港クルーズバスの企画が組まれた地域の割合(H21～H31)

資料：熊本県

八代港からの90分圏



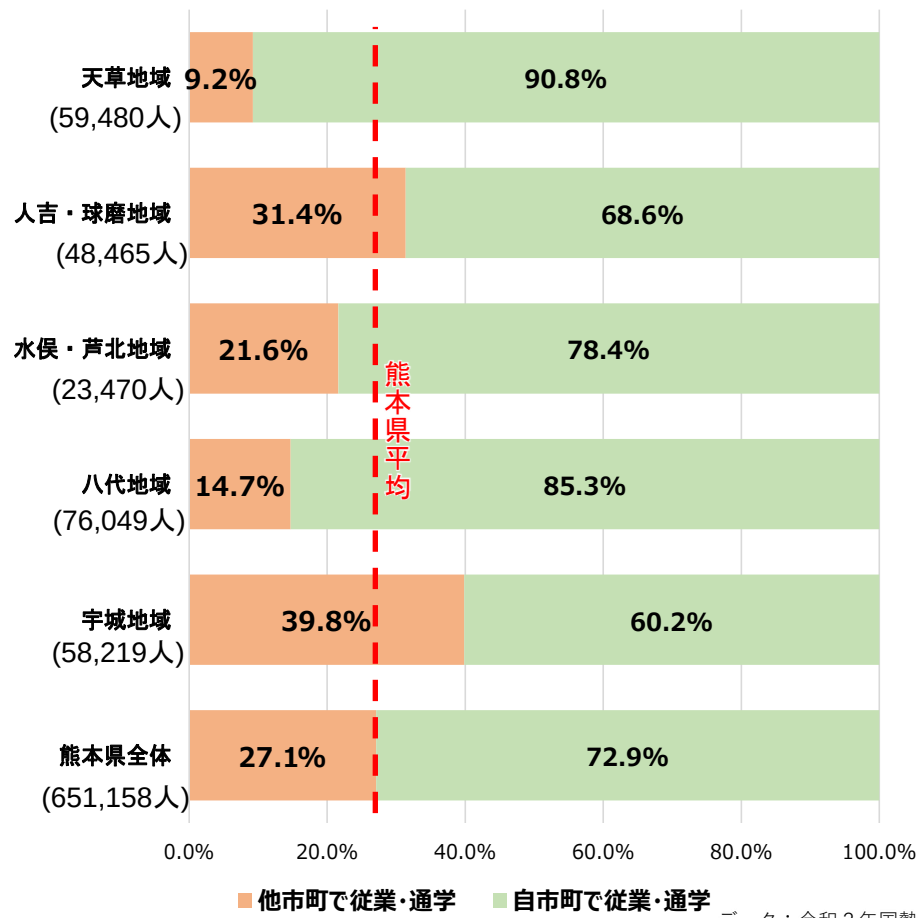
クルーズ船のバスツアーは片道約90分以内が目安

八代市観光課ヒアリングより

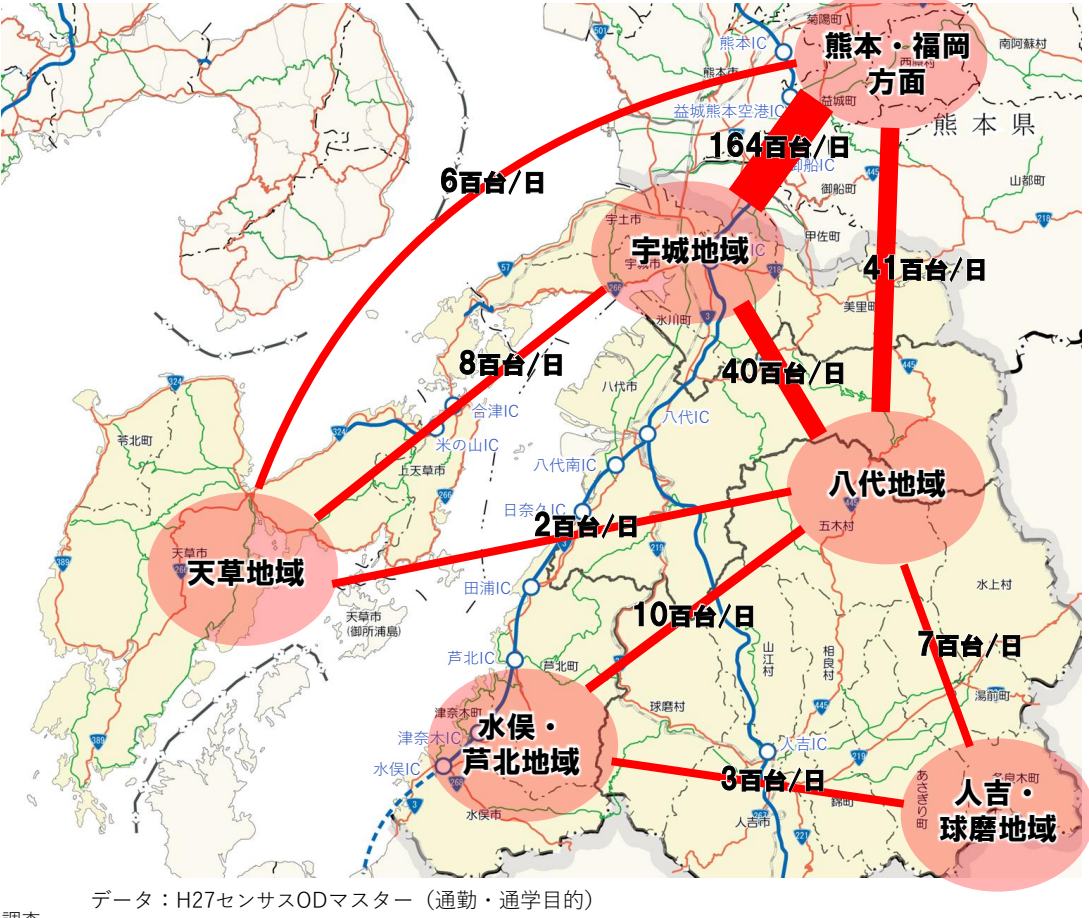
(3) 通勤・通学

- ・「天草地域」、「水俣・芦北地域」、「八代地域」は、自市町での通勤・通学者の比率が高く、特に「天草地域」が顕著
- ・自動車での通勤・通学は、「熊本・福岡方面」「宇城地域」「八代地域」間の流動は多いものの、「天草地域」「八代地域」「水俣・芦北地域」「人吉・球磨地域」間の流動は少ない区間もあり、連携強化が課題

■通勤・通学先



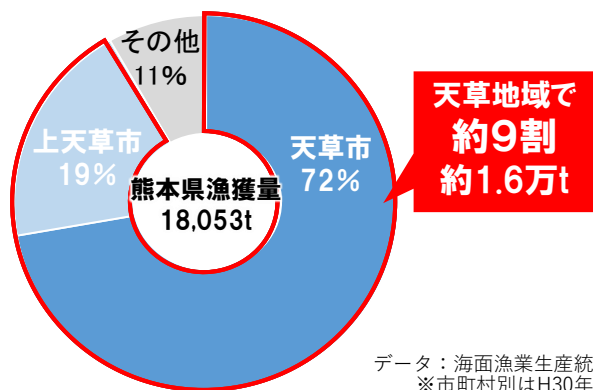
■自動車の通勤通学流動



(1) 水産の特性と課題

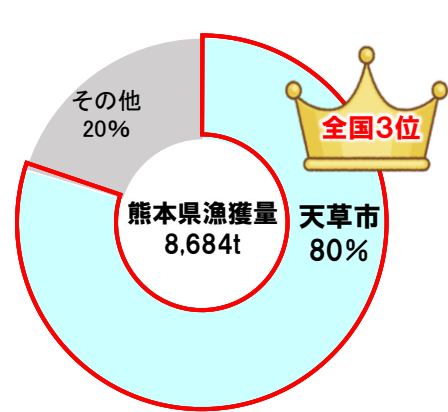
- ・「天草地域」の水産の漁獲量は熊本県の約9割を占める。特に、鮮魚では、養殖まだい、かたくちいわし、うるめいわしなどが全国有数の漁獲量
- ・県内の水産品は、「**関東、福岡方面**」へ約2割、「**宮崎方面**」へ約1割出荷しており、**鮮魚の輸送鮮度確保のための走行性向上や時間短縮が課題**

水産業のポテンシャル



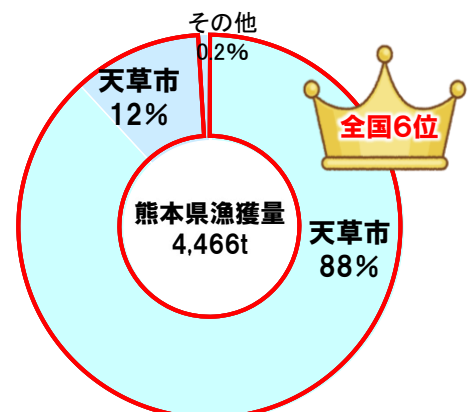
データ：海面漁業生産統計調査
※市町村別はH30年で終了

■漁獲量の県内シェア



■養殖まだいの漁獲量

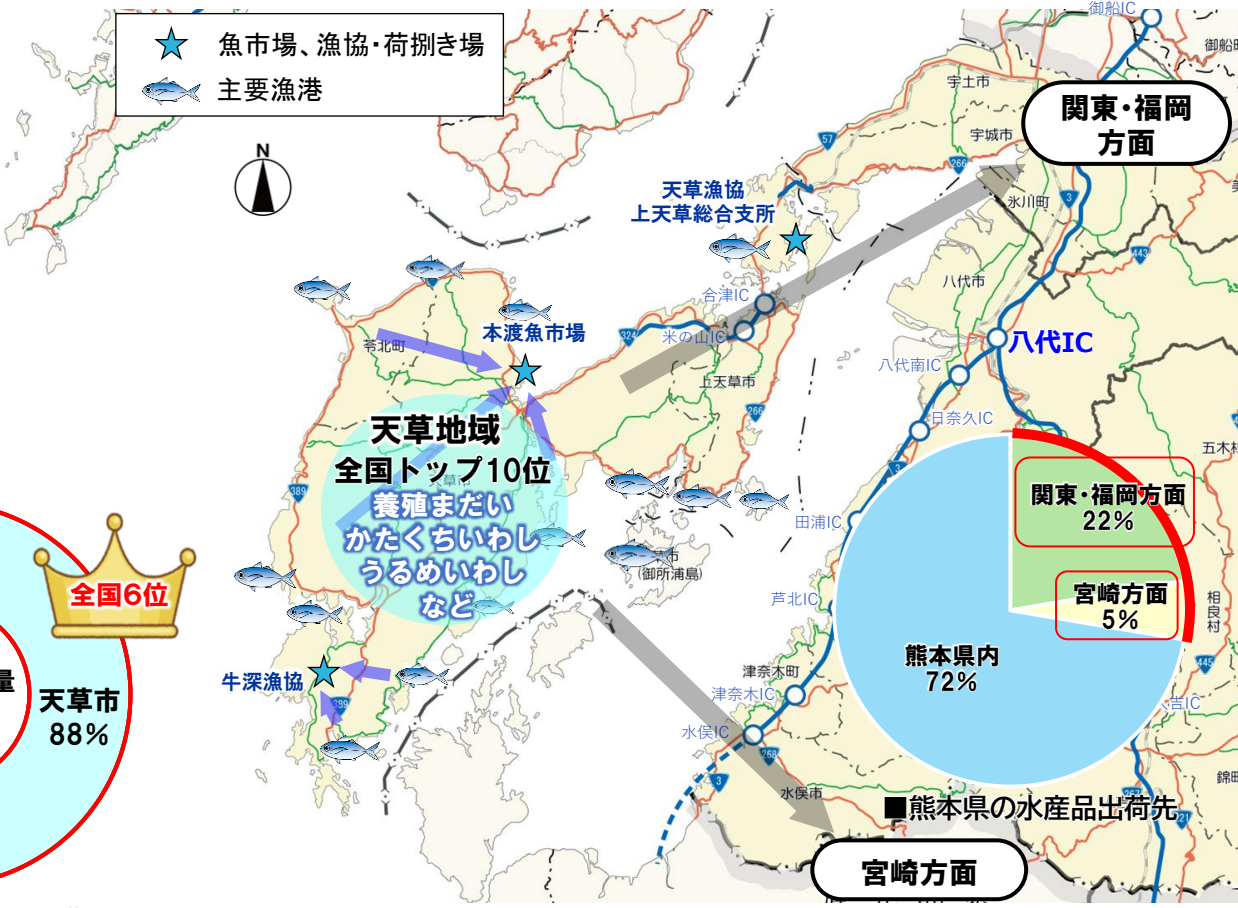
データ：海面漁業生産統計調査※市町村別はH30年で終了



■かたくちいわしの漁獲量

データ：海面漁業生産統計調査※市町村別はH30年で終了

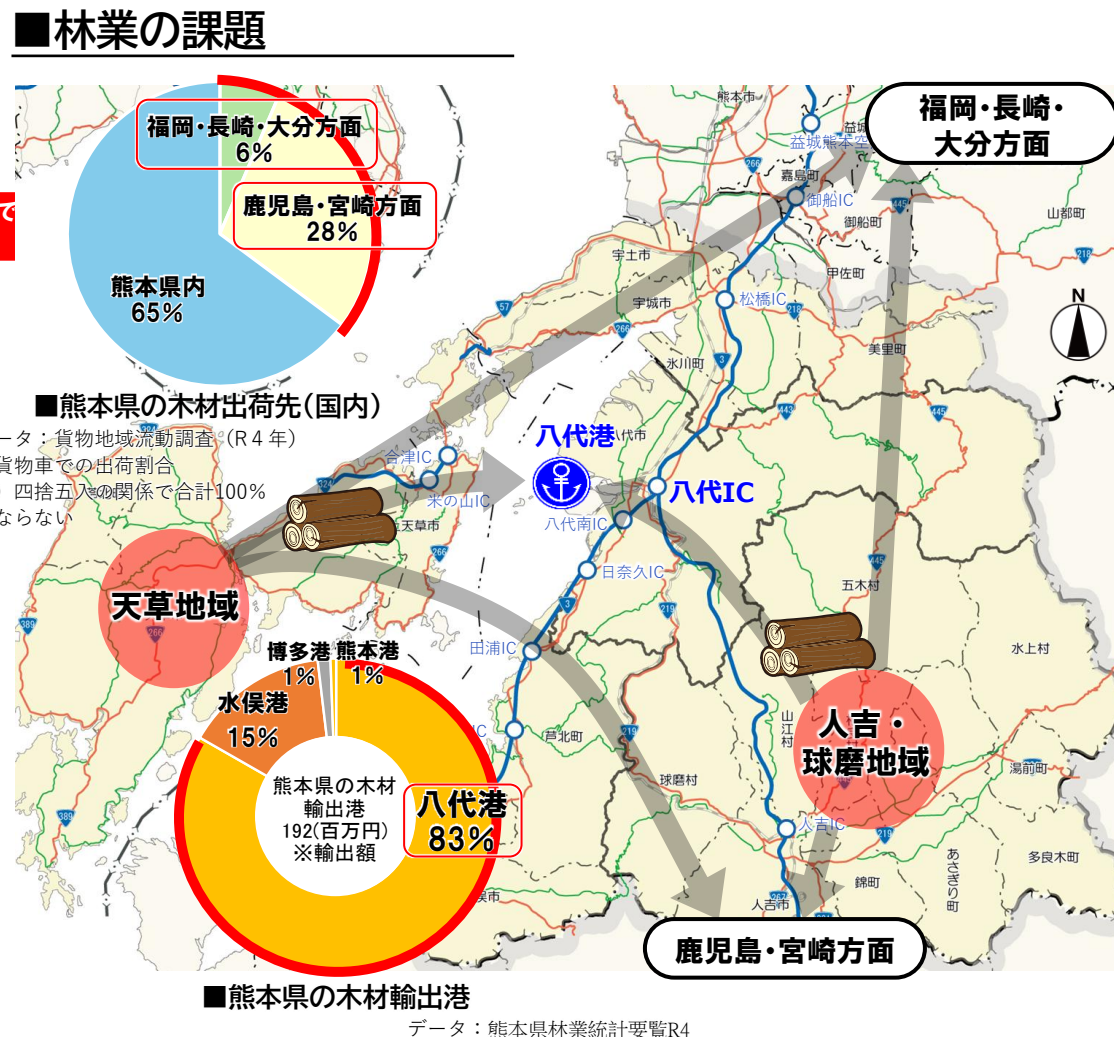
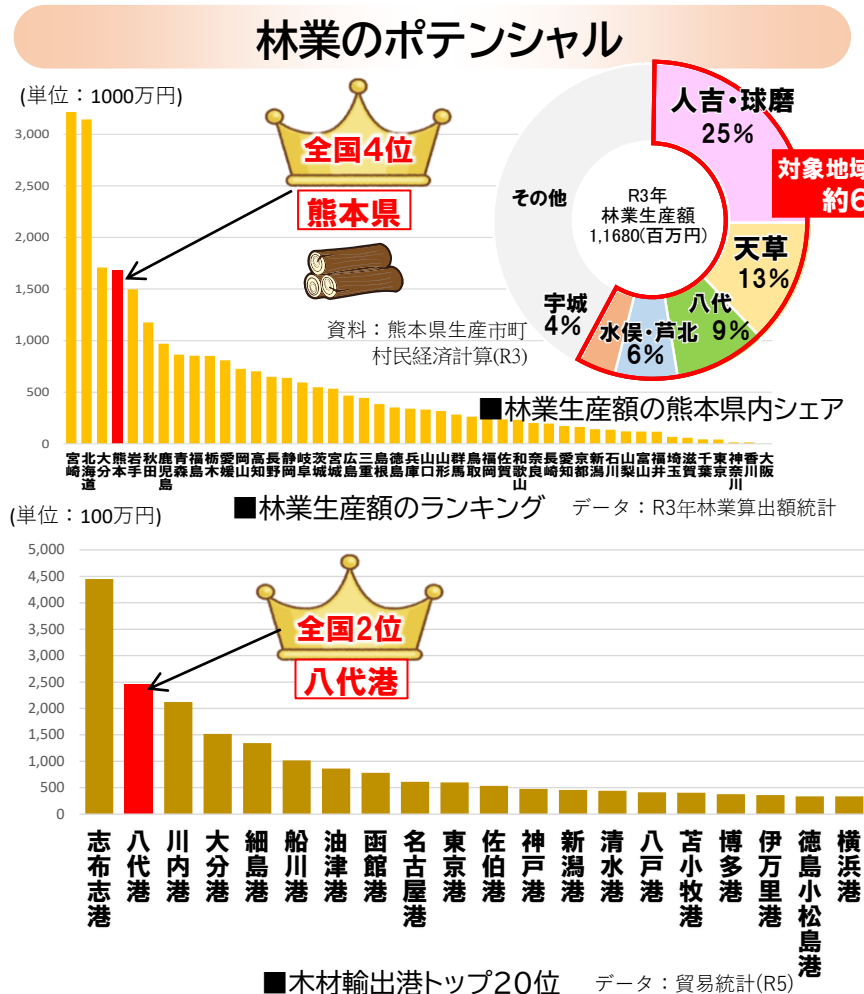
■水産業の課題



データ：貨物地域流動調査（R4年）※貨物車での出荷割合注）四捨五入の関係で合計100%にならない

(2) 林業の特性と課題

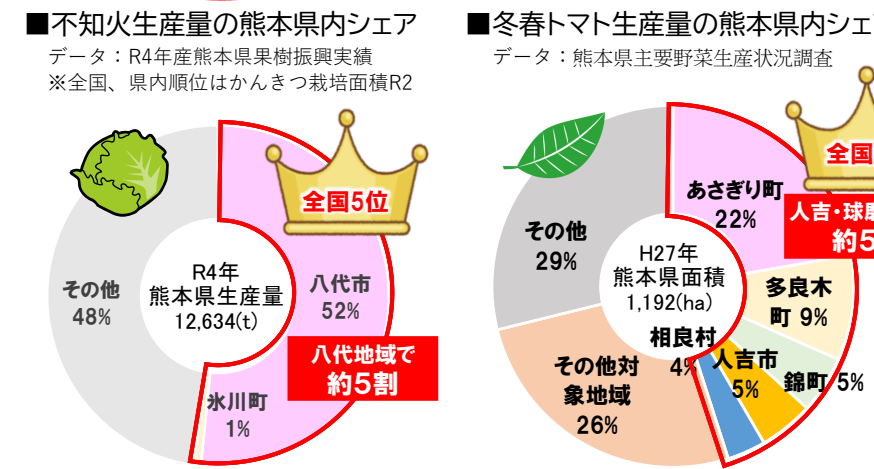
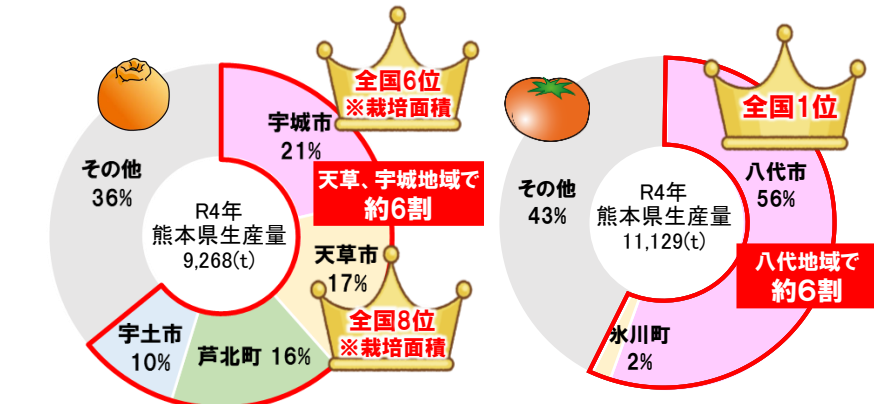
- ・熊本県は林業生産額が全国4位の木材の産地。中でも、対象地域は熊本県全体の約6割の生産額
- ・県内の木材は、全国2位の木材輸出がある「八代港」から約8割を国外へ輸出。また、国内へは、「鹿児島・宮崎方面」へ約3割、「福岡・長崎・大分方面」へ約1割出荷
- ・「天草地域」、「人吉・球磨地域」から「八代港」や「高速IC」への輸送効率向上のためのアクセス性向上が課題



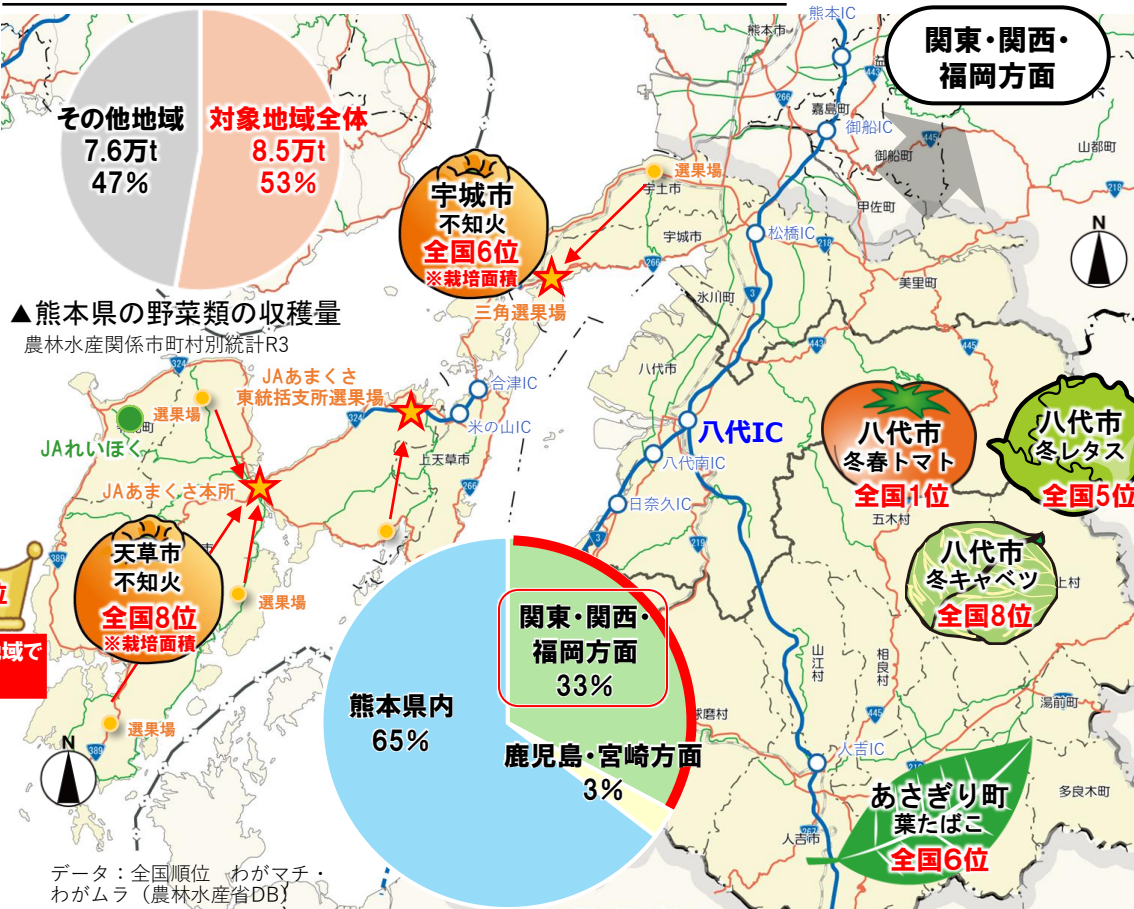
(3) 農業の特性と課題

- ・「天草地域」「宇城地域」は「不知火」、「八代地域」は「冬春トマト」「冬レタス・キャベツ」等の野菜関連、「人吉・球磨地域」は、「葉たばこ」などが**全国10位に入る有数の産地**
- ・県内の果物・野菜は、「**関東・関西・福岡方面**」へ約3割出荷しており、荷痛みの防止や鮮度確保のための走行性向上が課題

農業のポテンシャル



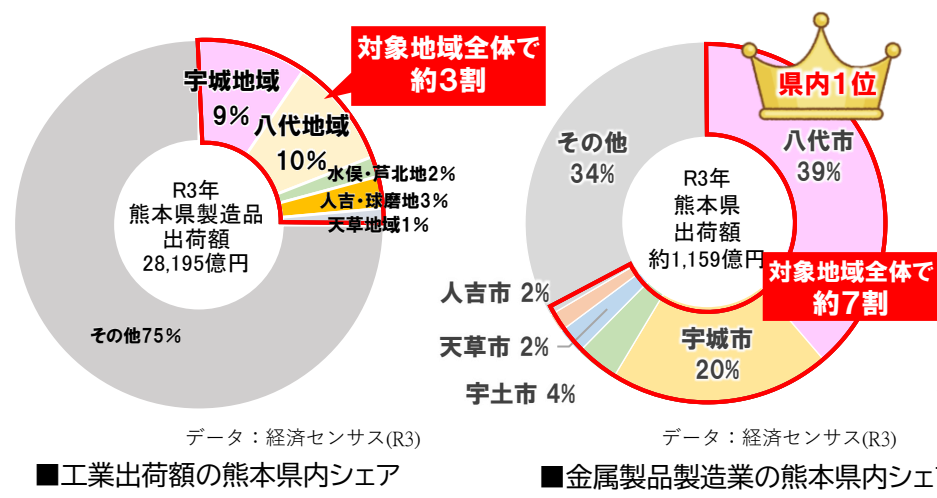
農業の課題



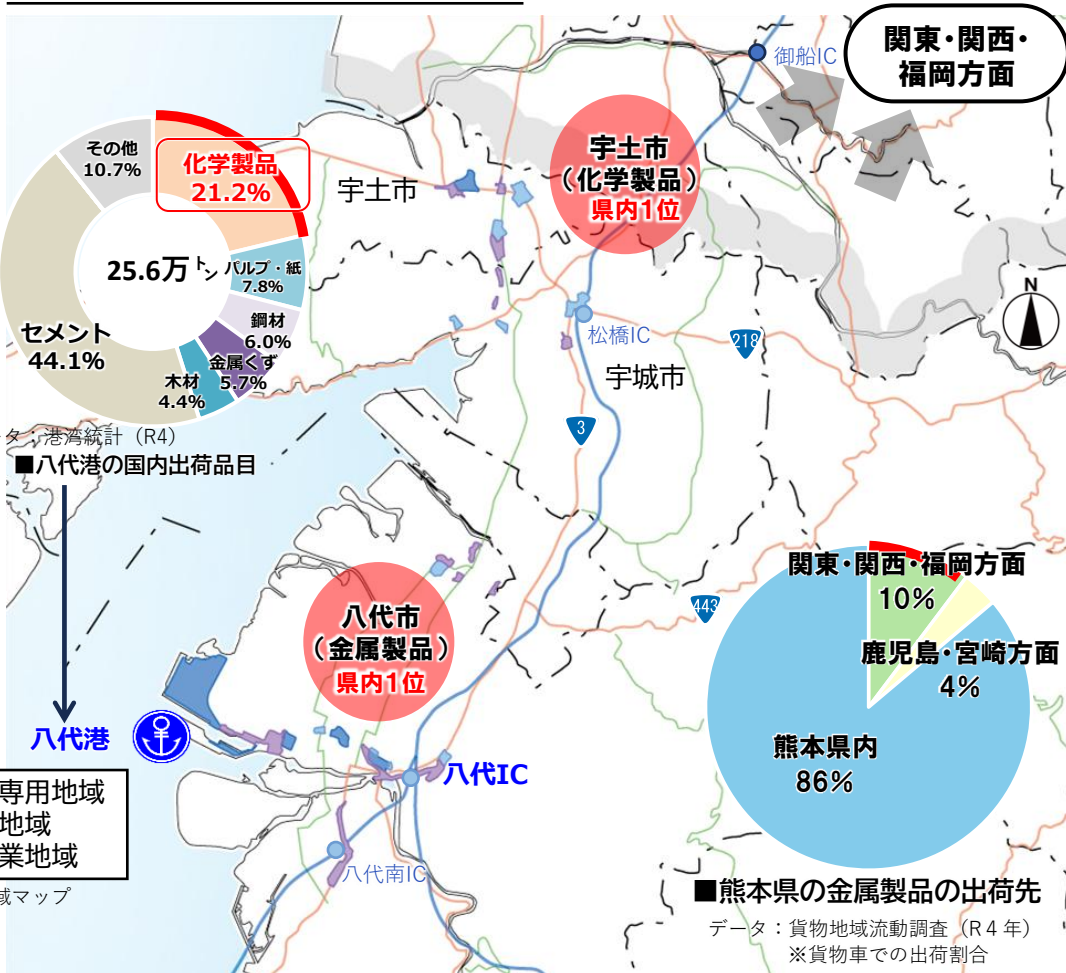
(4) 工業の特性と課題

- ・対象地域の工業出荷額は、熊本県全体の約3割であり、**金属製品は熊本県内の約7割、化学製品は約9割以上を生産**
- ・県内の金属製品は、「関東・関西・福岡方面」へ約1割を出荷し、化学製品は、「八代港」から国内へ主に出荷されており、「八代港」や「高速IC」へのアクセス性向上が課題

工業のポテンシャル



工業の課題



4. 地域課題の整理【企業誘致】

企業誘致の課題

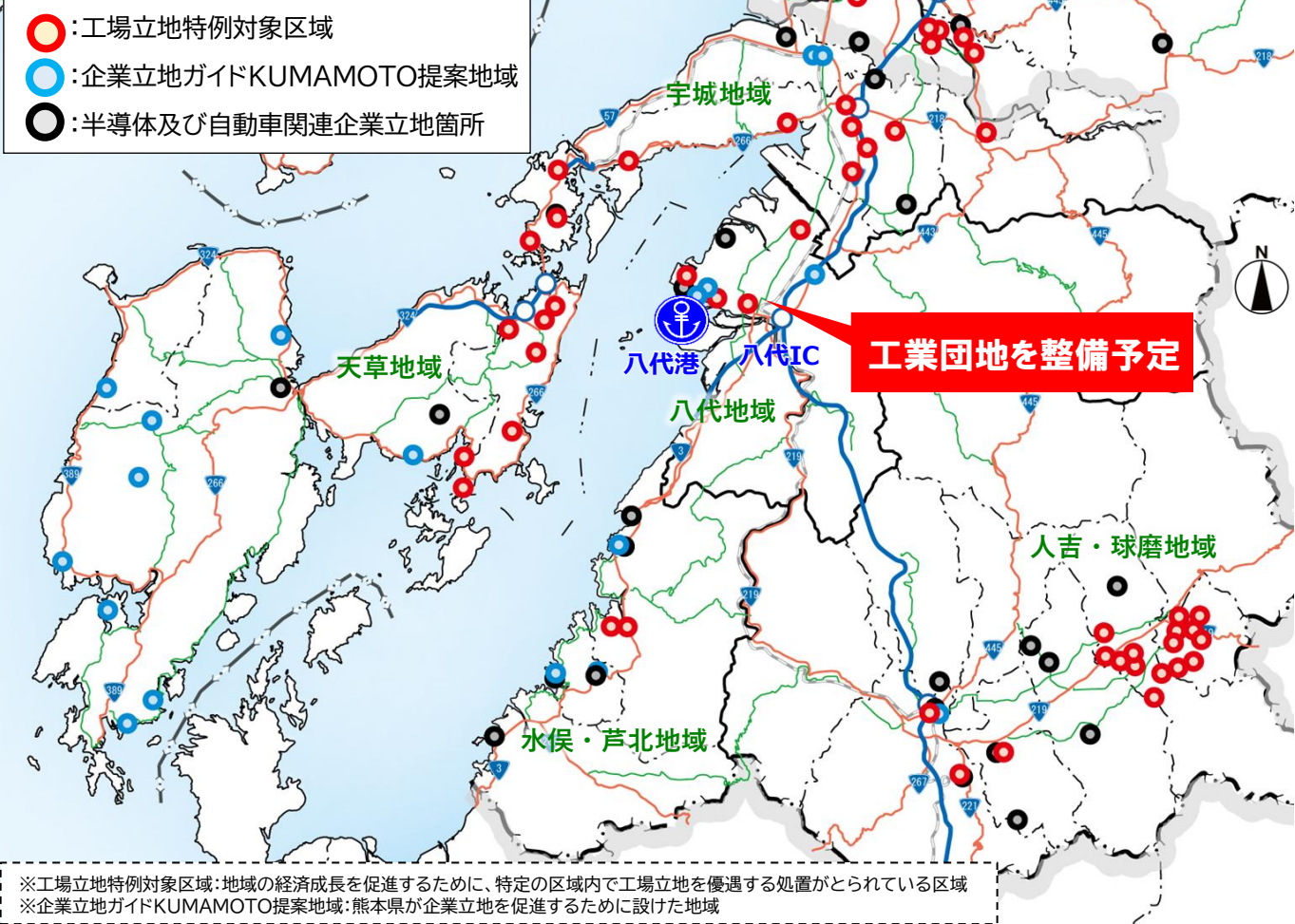
- ・TSMCの熊本県進出に伴い、八代IC近くへ**工業団地を整備予定**
- ・また、対象地域においては工場立地特例対象区域が指定されるなど、企業立地に伴う経済波及効果を県南地域に拡大するため、**対象地域の連携強化が課題**

企業立地のポテンシャル



場所	広さ	完成予定	主体	概要
1 福岡県飯塚市	25ヘクタール	2028年度	市	閉山した炭鉱跡地を再開発。福岡空港や北九州空港に車で約1時間
2 福岡県うきは市	27ヘクタール	29年度	県	市西部で計画。大分自動車道朝倉ICに近接
3 佐賀県鳥栖市	34ヘクタール	30年度	県市	九州自動車道鳥栖ジャンクションの南側に「サザン鳥栖クロスパーク」を整備。東急不動産や丸紅と連携
4 長崎県東彼杵町	29ヘクタール	26年度	県町	長崎自動車道東そのぎICに近い。地下水が豊富。民間事業者と連携する方針
5 熊本県菊陽町	25ヘクタール	未定	町	TSMC熊本工場の南側で計画。25年2月までに地権者の意向調査
6 熊本県八代市	25ヘクタール	28年度	県市	九州自動車道八代ICや国際港湾である八代港に近く、物流に強み

熊本県地域未来投資促進基本計画における重点促進区域一覧



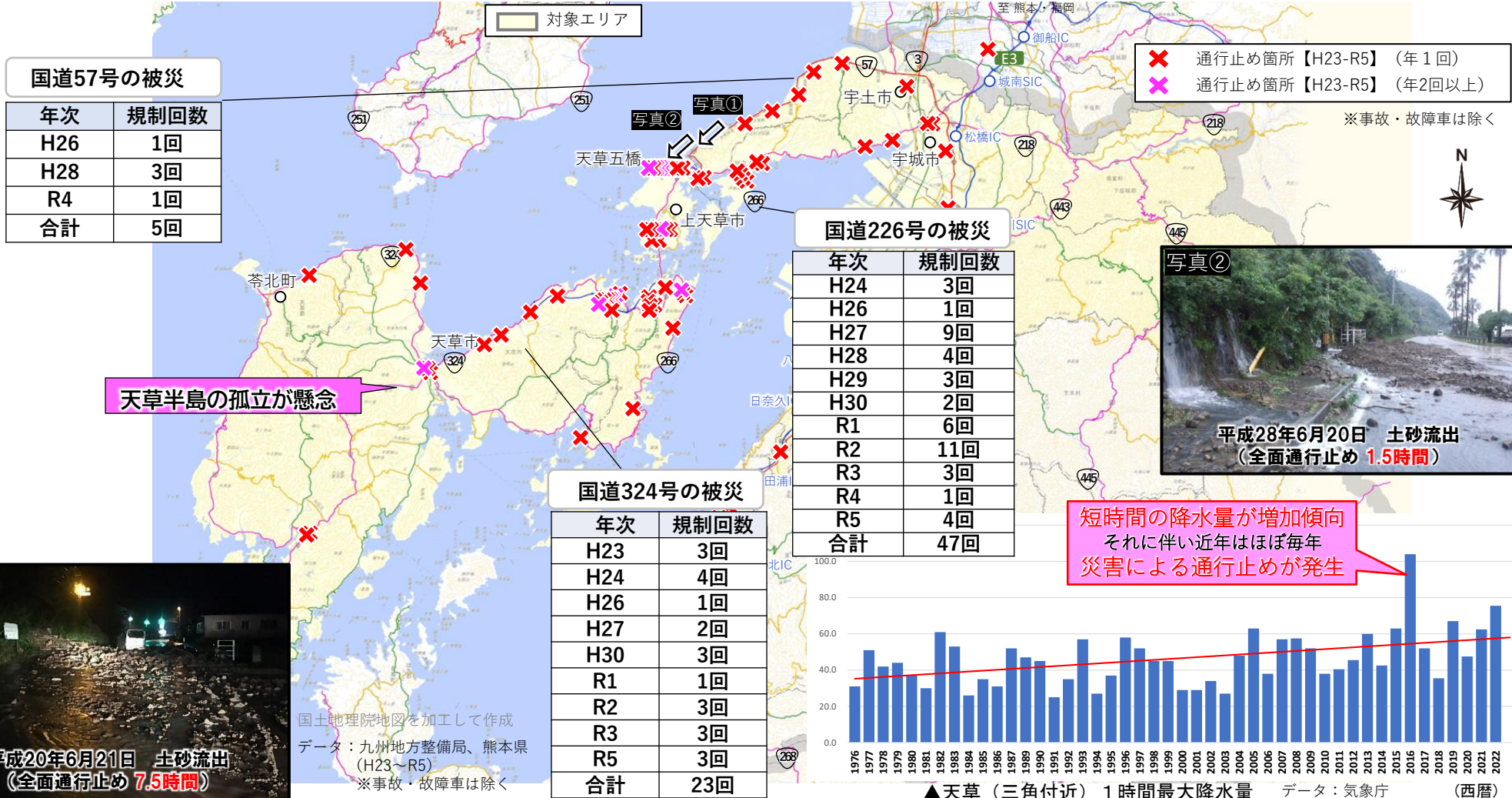
資料：読売新聞オンライン（R6.10.12）を引用して作成

資料：熊本県_熊本県新広域道路交通計画を基に作成（熊本県地域未来投資促進基本計画）

(1) 災害時の通行止め

- ・時間最大降雨量が年々増加するなど豪雨災害が激甚化する中、天草半島の幹線道路では、H23～R5年の13年間で延べ75回の通行止めが発生
- ・災害時の通行規制に伴う天草半島の孤立化のリスクがあり、リダンダンシー確保が課題

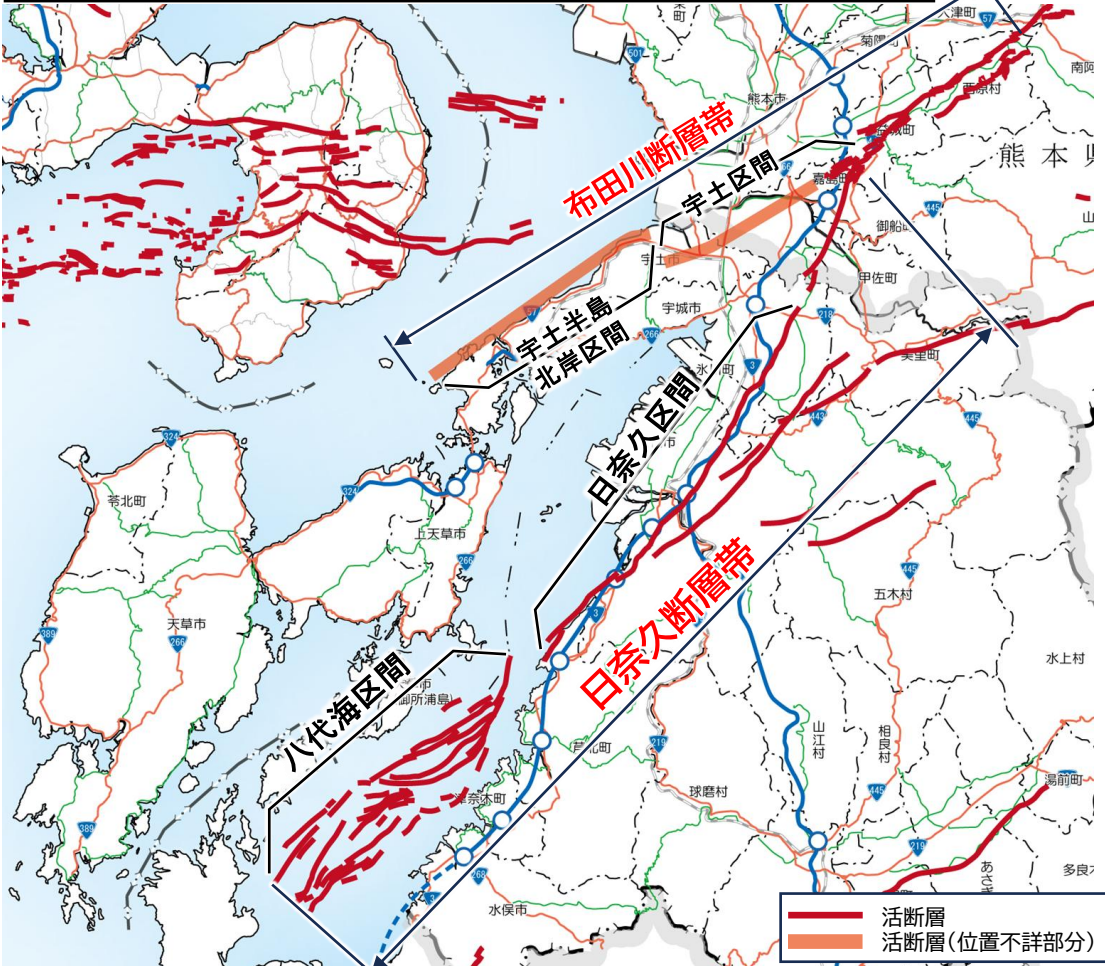
■対象エリアの通行規制履歴(H23～R5)



(2) 大規模地震(活断層)

- ・対象地域には、日奈久断層帯と布田川断層帯が存在
- ・特に、日奈久断層帯(日奈久区間、八代海区間)では、国内の活断層において今後30年間にマグニチュード7以上の地震が発生する可能性が高い
- ・特に、「天草地域」では、能登半島地震でみられた長期的な集落の孤立化やライフラインの寸断リスクが課題

■対象地域の活断層の状況

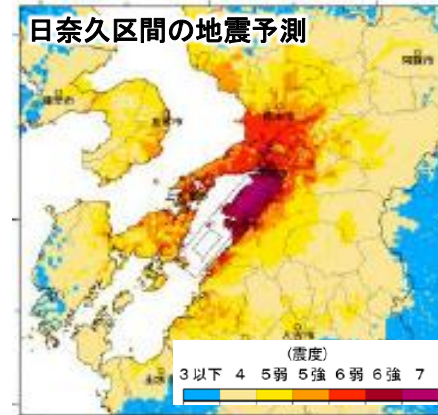


資料：政府地震調査研究推進本部の資料を引用して作成

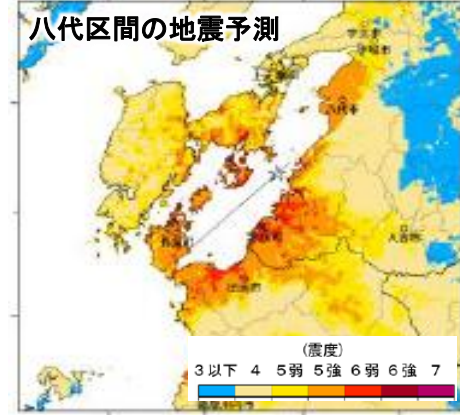
■地震発生の可能性

断層	区間	地震規模	地震発生確率	平均活動間隔	最新活動時期
断層帯 日奈久	日奈久区間	M7.5程度	30年以内 ほぼ0～6% ※1	3600年～ 11000年程度	約8400年 前以後 約2000年 前以前
	八代海区間	M7.3程度	30年以内 ほぼ0～16% ※1	1100年～ 6400年程度	744年 肥後の地震の 可能性がある
断層帯 布田川	宇土区間	M7.0程度	不明	不明	不明
	宇土半島北岸区間	M7.2程度 以上	不明	不明	不明

※1：今後30年間に地震が発生する確率(最大値)が3%以上は国内で高いグループに属する



資料：政府地震調査研究推進本部

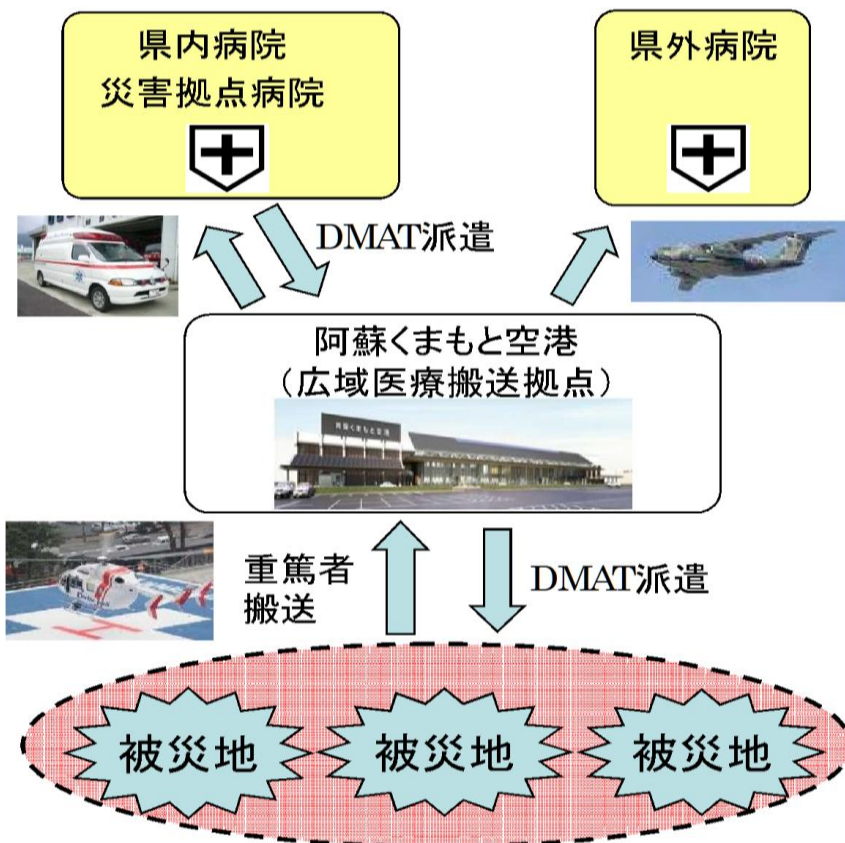


資料：政府地震調査研究推進本部

(3) 大規模災害時の医療活動

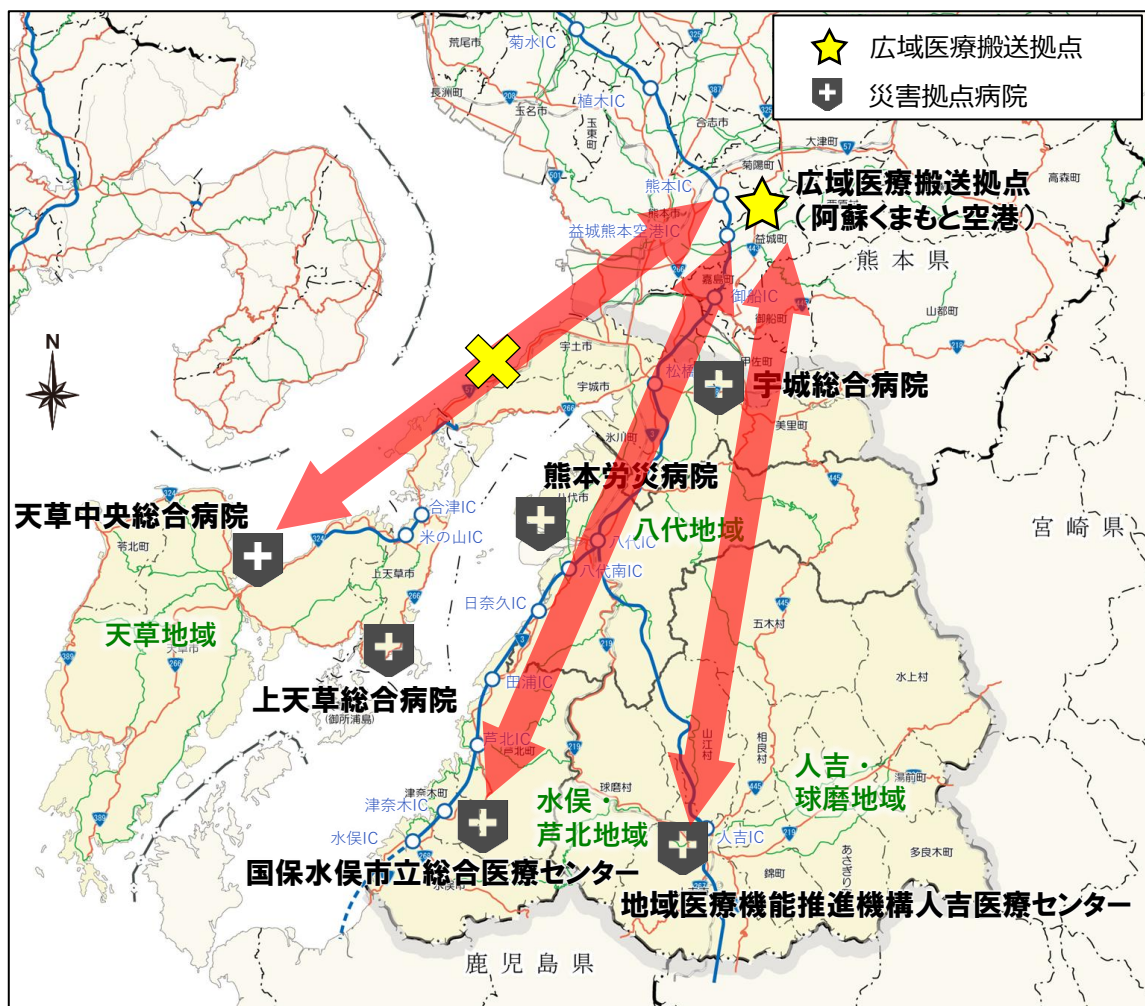
- ・大規模災害時の救急救命活動は、広域医療搬送拠点（阿蘇くまもと空港）から各地域の災害拠点病院へDMATを派遣し、患者を受け入れ
- ・「天草地域」においては、**大規模災害時に幹線道路が途絶すると救命活動が困難となる**ことが課題

■大規模災害時の活動計画



資料：九州を支える広域防災拠点構想（熊本県）

■大規模災害時の救急救命活動の課題

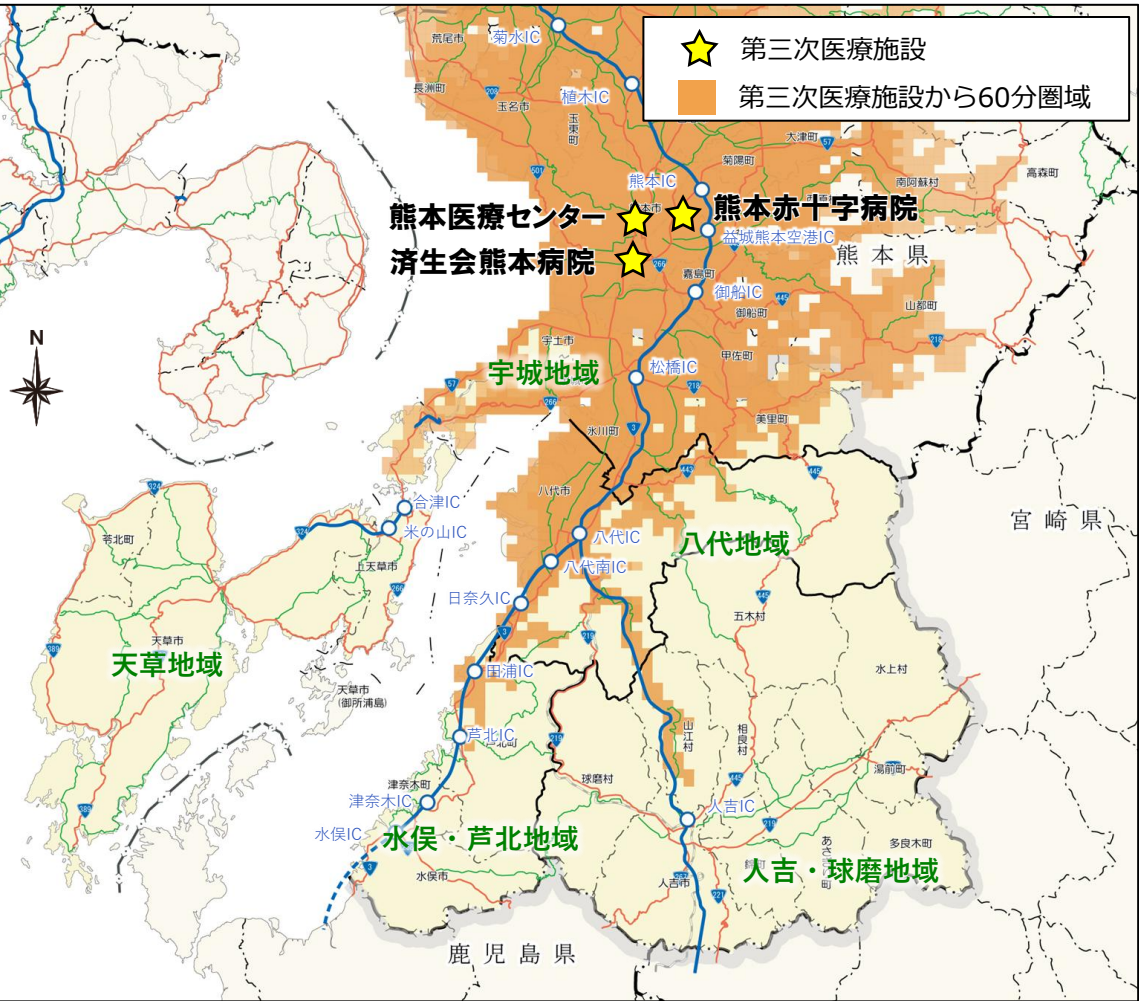


資料：災害指定病院（厚生労働省災害拠点病院一覧）

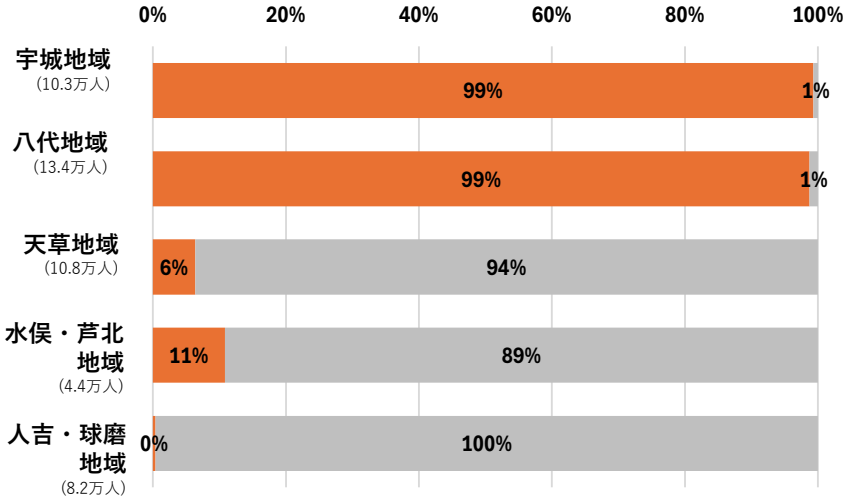
救急医療

・第三次医療施設からの60分圏内の人口カバー率は、「天草地域」、「水俣・芦北地域」、「人吉・球磨地域」で低く、
第三次医療施設への搬送時間短縮が課題

第三次医療施設60分圏



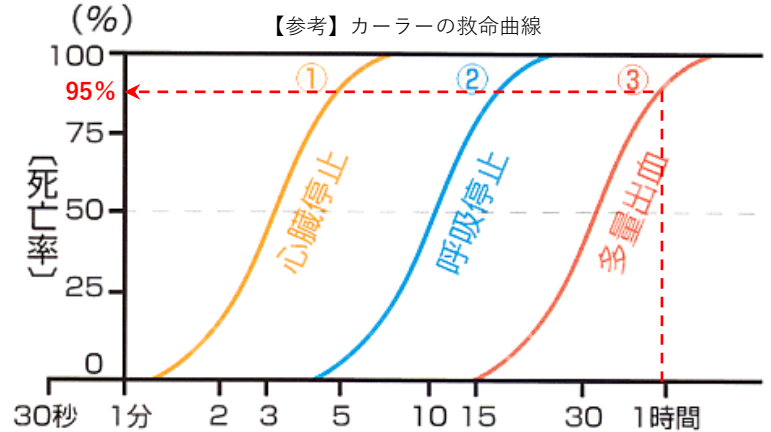
データ：ETC2.0ブローブデータ（平日7-19時平均）



速度データ：
ETC2.0ブローブデータ
（平日7-19時平均）
カバー人口：R2国勢調査

60分圏内 60分圏外

第三次医療施設からの人口カバー率



- ・整備方針策定に向けて、地域の目指す全体像や求められる機能等について、引き続き検討を進める。

前回（第1回勉強会）

- ・八代天草地域の現況、道路の現状



今回（第2回勉強会）

- ・地域の現況、道路の現状
（人吉・球磨地域等まで範囲を拡大し分析）
- ・地域課題の整理



第3回以降

- ・地域の目指す全体像（産業、観光、圏域づくり、交通体系等）
- ・求められる機能、必要性
- ・整備による経済効果
- ・既存の海峡横断道路事業の研究 等